

# WebAgentPlus マニュアル (教師用)

---

## 目次

1	「教師」レベルの操作	1
1.1	教師の作業内容	1
1.2	「ユーザ」に割り振られるコース内の「役割」	1
2	アクセス用 URL	2
3	ログイン操作	2
3.1	ログイン	2
3.2	コース選択	3
3.2.1	お知らせ作成 (任意)	7
4	教師メニュー	8
4.1	ユーコムジャンル管理	9
4.2	テスト作成：サブシステム「ユーテス (YuTes)」	10
4.2.1	特徴	10
4.2.2	取り扱うファイル種 (概略)	11
4.2.3	「ユーテス (YuTes)」で作成可能なテスト問題形式 (概略)	11
4.2.3.1	【選択問題 (単項)】	12
4.2.3.2	【選択問題 (複項)】	12
4.2.3.3	【選択補充問題】	13
4.2.3.4	【記述問題】	13
4.2.4	「ユーテス (YuTes)」の操作方法	13
4.2.4.1	ベースファイルの編集に関する基本情報	14
4.2.4.2	ベースファイル編集の際の入力方法	16
4.2.4.3	問題形式、選択肢等を増やしたい場合	22
4.2.5	編集作業の実例 (1)	25
4.2.5.1	【選択問題 (単項)】作成	25
4.2.5.2	【選択問題 (複項)】作成	27
4.2.5.3	ファイルの保存	28
4.2.5.3.1	「別名保存」の方法	28
4.2.5.3.2	「チェック&テスト変換」	32

4.2.5.4	動作確認のためのテスト受験 . . . . .	36
4.2.5.5	テスト問題 (練習問題も含む) の編集 . . . . .	36
4.2.5.5.1	【テスト問題一覧】の表示 . . . . .	36
4.2.6	編集作業の実例 (2) . . . . .	38
4.2.6.1	【選択補充問題】の作成 . . . . .	38
4.2.6.1.1	選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式 : DDL 形式) . . . . .	38
4.2.6.1.2	選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式 : DDL 形式) の問題内容の入力 . . . . .	40
4.2.6.1.3	空所補充形式 (穴埋め問題形式) . . . . .	44
4.2.6.1.4	空所補充形式の問題内容の入力 . . . . .	46
4.2.6.2	【記述問題】の作成 . . . . .	48
4.2.6.2.1	記述問題における「教師採点」の方法 . . . . .	51
4.2.7	編集操作の軽減について . . . . .	53
4.2.7.1	【保存・設定等の領域】における各種機能ボタン . . . . .	53
4.2.7.1.1	【上書き保存】 . . . . .	53
4.2.7.1.2	【別名保存】 . . . . .	53
4.2.7.1.3	【チェック&テスト変換】 . . . . .	53
4.2.7.1.4	【総配点】 : 自動配点と固定配点 . . . . .	54
4.2.7.1.5	«固定配点の仕組み» . . . . .	54
4.2.7.2	【編集作業領域】における各種機能ボタン . . . . .	58
4.2.7.2.1	【ファイルの再読込】 . . . . .	58
4.2.7.2.2	【ファイル一覧へ】 . . . . .	58
4.2.7.2.3	【各種編集用アイコン】 . . . . .	58
4.2.7.3	【パーツ表示】ボタン . . . . .	60
4.2.8	ファイルの共有操作 . . . . .	60
4.2.8.1	ベースファイルの共有操作 . . . . .	61
4.2.8.2	テスト問題ファイルの共有操作 . . . . .	62
4.3	テスト受験 . . . . .	64
4.3.1	テスト受験の手順 . . . . .	64
4.4	成績関連 . . . . .	66
4.4.1	採点結果の確認 . . . . .	66
4.4.2	平均点一覧 . . . . .	67
4.5	教材関連 . . . . .	69

4.5.1	ファイル名	70
4.5.2	【編集】	70
4.5.3	削除	71
4.5.4	新規教材登録	71
4.6	一斉メール送信	73
4.6.1	「一斉メール送信」の選択	73
4.6.2	送信先メールアドレスの選択	75
4.6.3	メールアドレスの管理等	76
4.7	メンバー関連	77
4.7.1	入退室一覧	77
4.7.2	履修者一覧 (コース内のメンバーの役割変更)	78
5	パワー教師	80
5.1	(お試し版) ユーザの消去	81

私的メモ欄：



# 1 「教師」レベルの操作

教師レベルの操作を行うには、管理者等から、予め、特定のコース(クラス)にて教師の役割が付与された「ユーザ名」と「パスワード」を取得する必要がある。

因みに、通常、「ユーザ名」は「個別のメールアドレス」であり、「パスワード」は当初この「個別のメールアドレス」と同一である\*1。

## 1.1 教師の作業内容

当該コース(クラス)に対して教師権限の割り振られた「ユーザ」、すなわち「教師」は、当該コースの管理(テスト作成、成績管理、教材管理、出席管理等々)を担う。

因みにコースの「作成」は、「教師」ではなく「管理者」が担う。管理者は、別途装備されている「管理用マニュアル」に従い、予め、コース作成以外、ユーザ作成、履修登録等を行っておく必要がある。

## 1.2 「ユーザ」に割り振られるコース内の「役割」

予め、管理者レベルで、どの「ユーザ」がどの「クラス」を履修するか(「履修登録」)等々、設定されているものとする。

各履修コース内では、「ユーザ」に6種の「役割」、すなわち、「一般ユーザ」、「TA」、「教師」、「パワーユーザ」、「パワーTA」、「パワー教師」のいずれかが割り振られる(デフォルトで割り振られている「役割」は「一般ユーザ」)。

当該コースの「教師\*2」は、コース内の各「ユーザ」に対して、個別に、4種の「役割」、すなわち、「一般ユーザ」、「TA」、「パワーユーザ」、「パワーTA」のいずれかを、随時、割り振る(変更する)事ができる。

また、当該コースの「パワー教師\*3」となっている場合は、コース内の「ユーザ」に、5種の「役割」、すなわち、「一般ユーザ」、「TA」、「パワーユーザ」、「パワーTA」、「教師」のいずれかを、随時、割り振る(変更する)事ができる。

---

\*1 ただし、初回のログイン時のみ、強制的にパスワードの変更が促され、かつ、パスワードを変更した旨、当該「個別のメールアドレス」に通知される。

\*2 教師の役割は、管理者による「履修登録」時に設定されている筈。何も役割設定されていない場合は、役割はデフォルトの「一般ユーザ」となり、本マニュアルの「教師レベルの操作」も実行できない。

\*3 「パワー教師」は管理者レベルでのみ設定可能。

## 2 アクセス用 URL

他所で既に記述しており、重複するが、重要と思われるので再掲する。

本システム関連のアクセス用 URL には、

1. お試し版用 URL

<http://webagent.japanwest.cloudapp.azure.com/WebYuKen/Home/WebApTrial>

2. 本体システム (WebAP) 用 URL

<http://webagent.japanwest.cloudapp.azure.com/WebYuKen/>

3. 本体システムのホームページ用 URL

<http://webagent.japanwest.cloudapp.azure.com/WebYuKenHome/>

の 3 種がある。

現在閲覧中のこの「教師用」マニュアル以外、「ユーザ用」、「管理者用」、「お試し版用」があり、これらは、上記、本体システムのホームページ用 URL(P.2 項目 3) からダウンロード可能であるが、本システム内に【詳細マニュアル】の表示関連が適宜配置されているため、敢えてダウンロードする必要はない。

なお、「管理者用」マニュアルのみは、申請に応じて提供可能となっている。

## 3 ログイン操作

管理者が「管理者用」マニュアルに従い、既に「コース作成」、「ユーザ登録」、「履修登録」を終えているものとする。また、今閲覧しているこのマニュアルは、「教師用」マニュアルなので、閲覧者は、管理者により、いずれかのコース（クラス）に「教師の役割」で既に履修登録されているものとする。

### 3.1 ログイン

管理者から、当該ユーザの「ユーザ名」と「パスワード」を取得し、本体システム用 URL(P.2 項目 2) をブラウザのアドレス欄に入力し、ログイン画面を表示させる。



図 1: ログイン画面

「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックすると、「ユーザホーム画面」が表示される。

注意：初回のログイン時のみ、セキュリティ上の理由から、「ユーザホーム画面」ではなく、「パスワード変更画面」が表示されるので、新パスワードを入力後、「変更」ボタンをクリックする。詳細は、「ユーザ用」マニュアルの「1.2 ログイン操作の具体的な手順」を参照されたい。

## 3.2 コース選択

「ユーザホーム画面」にて「登録済みコース一覧」が表示される。

WebAP ユーザホーム 反骨の背枕[7] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザホーム画面

ユーザホーム画面

**注意**：以下の「登録済コース一覧」から希望の「コース名」をクリック・選択して下さい。

登録済コース一覧					
CID	コース名	曜日	時限	役割	氏名
3	<a href="#">ドイツ語教室(1)</a>	Wed	1	P-教師	反骨の背枕
7	<a href="#">哲学教室 [未読:0個]</a>			P-教師	反骨の背枕
8	<a href="#">しゃれうべの会</a>	Sun	6	一般ユーザ	反骨の背枕

© 2024 - WebAP

図 2: 「ユーザホーム画面」内の登録済コース一覧

「役割」欄にて、当該ユーザが「教師」または「パワー教師 (P-教師)」として登録されている事を確認する。

なお、「コース名」右横に、「新着：N 個」と表示されている場合、当該コースのコミュニケーションツール「ユーコム (YuCom)」に、当該ユーザが最後に「ユーコム」を離れた日時以降に、他のユーザにより作成されたメッセージ群が N 個存在する事を意味する。

さて、ここで希望のコース (ここでは例として「哲学教室」) を選択すると、「...へようこそ」画面が表示される。

WebAP ユーザーホーム ユーザーメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[2081] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室

「哲学教室」へようこそ

- ① **ユーザーメニュー** : 上部の **ユーザーメニュー** をクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト受験」→「テスト問題一覧」、あるいは、コミュニケーションシステム「**ユ-コム**(YuCom)」、「教材関連」、「成績関連」等々を選んで下さい。
- ② **教師メニュー** : 上部の **教師メニュー** をクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト作成」→「ベースファイル一覧」、「成績関連」、「教材関連」等々を選んで下さい。
- ③ **注意** : スマホ等、画面幅が狭い場合は、左端上部に「ハンバーガーメニュー」☰が表示されますので、これをクリックすると、**ユーザーメニュー**が表示され、ここから例えば、「**ユ-コム**(YuCom)」を選択して下さい。
- ④ **【詳細マニュアル】の表示関連**

新規作成(お知らせ)

表示件数: 0件 (お知らせは現在ありません)

「お知らせ」

主題	本文	日時	役割	MID
お知らせは現在ありません				

© 2024 - WebAP

図 3: 「...へようこそ」画面 (1)

この画面には、「【詳細マニュアル】の表示関連」があり、本システムの詳細なマニュアルを簡単に表示させる事が可能なので、操作に不慣れなユーザは是非活用されたい。具体的に、「【詳細マニュアル】の表示関連」をクリック (トグル形式) すると、以下のように、非表示となっていたメッセージが展開される。

WebAP ユーザホーム ユーザメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[2081] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室

≪哲学教室≫へようこそ

- ① **ユーザメニュー** : 上部の **ユーザメニュー** をクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト受験」→「テスト問題一覧」、あるいは、コミュニケーションシステム「**ユ-コム**(YuCom)」、「教材関連」、「成績関連」等々を選んで下さい。
- ② **教師メニュー** : 上部の **教師メニュー** をクリックすると、サブメニューが表示されますので、このサブメニューから、希望の項目、例えば、「テスト作成」→「ベースファイル一覧」、「成績関連」、「教材関連」等々を選んで下さい。
- ③ **注意** : スマホ等、画面幅が狭い場合は、左端上部に「ハンバーガーメニュー」**≡** が表示されますので、これをクリックすると、**ユーザメニュー** が表示され、ここから例えば、「**ユ-コム**(YuCom)」を選択して下さい。

●【**詳細マニュアル**】の表示関連

1. 【**詳細マニュアル**】の種類 : 詳細マニュアルには、「ユーザ用マニュアル(一般ユーザ、学生向け)」、「教師用マニュアル」、「管理者用マニュアル」、「お試し版用マニュアル」の4種(全てPDFファイル)がある。本システムに不慣れな方は、同時に「詳細マニュアル」を見ながら、本システムを操作する事をお薦めする。
2. **表示の手順(1)** : 以下の「教師用マニュアル」ボタンをクリックすると、ブラウザの最上部に、「新規タブ」として、「教師用マニュアル」のページが追加される。
3. **表示の手順(2)** : このタブをドラッグして、分離すれば、本システムのページとこの「教師用マニュアル」のページを同時に2つのウィンドウで閲覧可能となる。これにより、この詳細マニュアルの記述内容に従って、正確に本システムを操作する事が可能となる。なお、教師の場合は、「ユーザ用マニュアル」も併記して表示される。
4. 教師用マニュアル ユーザ用マニュアル

新規作成(お知らせ)

表示件数: 0件 (お知らせは現在ありません)

≪お知らせ≫

主題	本文	日時	役割	MID
お知らせは現在ありません				

図 4: 「...へようこそ」画面 (2)

ここでは、「詳細マニュアル」表示の操作手順が明記されているが、「詳細マニュアル」をパソコン等の画面の一部に表示させたまま、本システムの操作が可能となる。なお、教師の場合は、「教師用マニュアル」以外、「ユーザ用マニュアル」も併記して明示される。

以下は、「詳細マニュアル」表示の操作手順に従い、ブラウザの「新規タブ」に表示された「教師用マニュアル」をドラッグで分離し、本システムの(例えば)右横に並べた結果である。

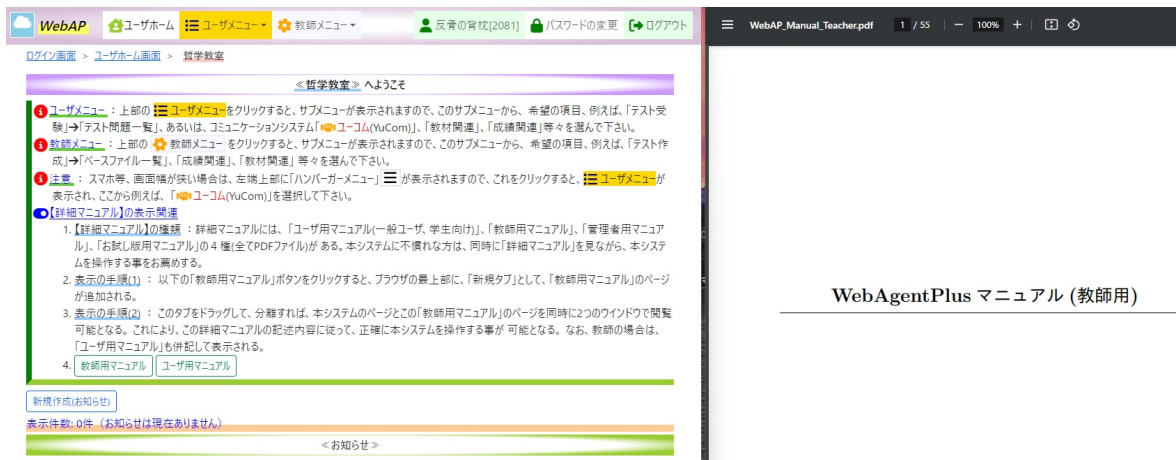


図 5: 「詳細マニュアル」を右横に並べた画面

### 3.2.1 お知らせ作成 (任意)

当該コースのメンバー向け、図 3 の「ようこそ画面」の下部に、お知らせ (無ければ「お知らせは現在ありません」) が表示されるが、教師権限でコースに入ると、「お知らせの新規作成」というリンクが付加される (ただし、「お知らせ」は、画面幅が限られているため、極々簡単なメッセージに留められたい)。

このリンクをクリックすると以下の「お知らせ 作成画面」が表示されるので、当該コースのメンバーに知らせたいメッセージがある場合、必須項目 (タイトル、本文) を満たして「送信」ボタンをクリックすれば、「ようこそ画面」の「お知らせ」が即座に更新される。

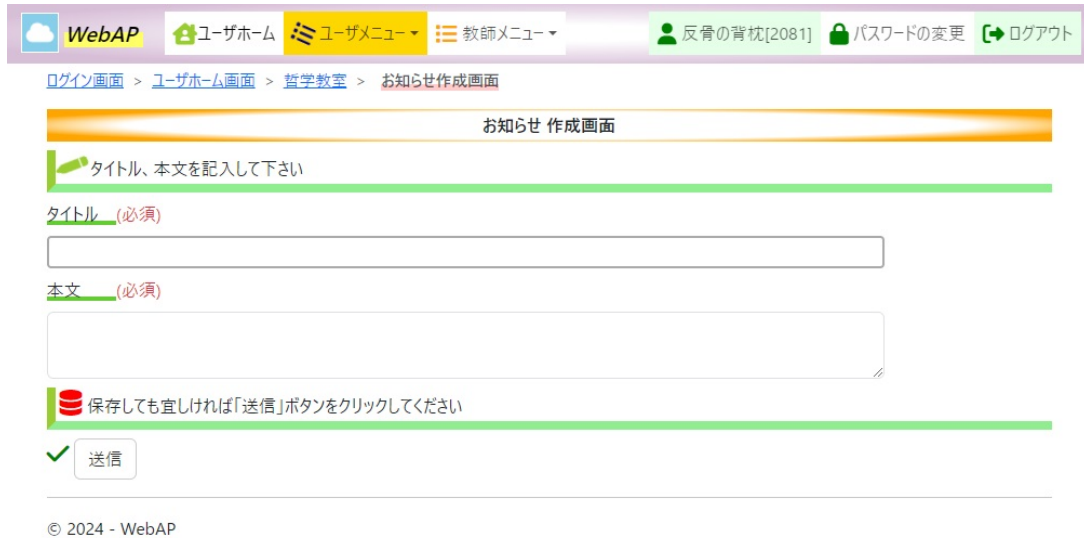


図 6: 教師権限の場合の「お知らせ 作成画面」

## 4 教師メニュー

最上部の「教師メニュー」をクリックするとサブメニューが表示される。



図 7: 教師メニューをクリックしてサブメニューを展開させた画面

これらのサブメニューの中、とりわけ重要と思われるサブメニューについて、順次説明



する。

## 4.1 ユーコムジャンル管理

忙しい現代において、ゆったりとしたコミュニケーションを実現するシステム「ユーコム」本体については、「ユーザ用マニュアル」である「WebAgentPlus マニュアル (ユーザ用)」内のサブシステム「ユーコム」の操作方法を一読されたい。

以下は、「教師メニュー」ではなく、「ユーザメニュー」の「ユーコム (YuCom)」メニューをクリックした際に表示される「ユーコム」メッセージ一覧画面。

[ログイン画面](#) > [ユーザホーム画面](#) > [哲学教室](#) > [ユーコム\(YuCom\)](#) ?

ジャンル  全て  一般  その他  1

**1** ユーコムについて：「ユーコム」は、LINEのように、メッセージのやり取りによりコミュニケーションを実現するシステムです。  
**2** 閲覧制限：メッセージの閲覧が可能なのは、このコース(クラス)のメンバーのみです(メンバーは上部の「ユーザメニュー」、「メンバー関連」、「履修者一覧」で確認可能)。  
[3](#) [操作方法](#)  
[4](#) [詳細マニュアル](#)の表示関連 (表示済みの方は無視されたい)

表示件数: 1 ~ 3 件, メッセージ総数: [3], ページ総数: [1], ページサイズ:

**1**

「ユーコム」メッセージ一覧															
主題	NO_TITLE	ジャンル	一般	作者	ユーコム花子	ID	5	返信	1	日時	24-08-16 12:34	CID	1095	No.	1
本文	「ユーコム」は、慌ただしい世の中にて、ゆったりとしたコミュニケーションを実現するためのシステムです。														
		この女性はどなたかしら？													
	音楽を聴いてください														
<input type="button" value="返信"/>	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="添付"/>	<a href="#">ユーザマニュアル.pdf</a>												
主題	RE1:NO_TITLE	ジャンル	一般	作者	福岡太郎	ID	7	返信	0	日時	24-08-16 14:55	CID	1095	No.	2
本文	これは返信 (コメント) です。SNSとは一味異なり、ゆっくりとした大人のツールです。 追加修正です。														

図 8: 「ユーコム」メッセージ一覧

コミュニケーションシステム「ユーコム」のジャンルは、教師レベルで管理（新規作成、修正、削除等）が可能となる。

「教師メニュー」から、「ユーコムジャンル管理」を選択する。なお、「一般」、「その他」の2つのジャンルは、管理者によりコースが作成された際に自動的に設定される。



図 9: ユーコムジャンル管理

ジャンルを修正、削除する場合は、「ユーコムジャンル管理」画面内のリンクの「修正」、「削除」をクリックする。新たなジャンルを作成する場合は、リンクの「新規作成」をクリックして、以下のような「ユーコムジャンルの新規作成画面」を表示する。

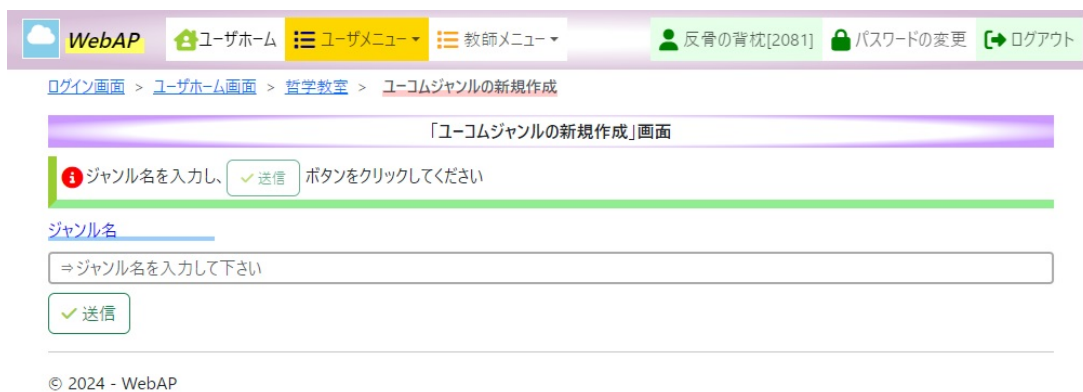


図 10: ユーコムジャンルの新規作成画面

ジャンル名を入力して、「送信」ボタンをクリックすると自動的にユーコムにこのジャンル名が追加される。

## 4.2 テスト作成：サブシステム「ユーテス (YuTes)」

ユーテス (YuTes) は、テスト作成者の負担を極限にまで減らす事を目指した、高機能テストシステムである。

### 4.2.1 特徴

このシステムの特徴は、おおよそ、

1. 簡易操作で、高機能のテストを作成する事が可能となる。具体的には、「超簡易版テスト作成機能」を装備している。
2. サーバとの送受信はテストの骨格のみに限定しているため、ネットワークの負荷が抑えられる。
3. 音声、画像、映像等のマルチメディアがワンタッチで利用可能。
4. システムが自動的に配点するため、教師がテストの配点に悩む必要が無い。なお、特定の項目に固有の配点をする「固定配点機能」(P.54 項目 4.2.7.1.5; P.??項目??参照)も備わっている。
5. 本テスト作成システム「ユーテス」は、作成者の操作負担を極限にまで減らす事を目指している。具体的には、原則として、「クリック選択」により主たる編集を行う事ができ、そのために有用なボタン類を揃えている (P.53 項目 4.2.7 を参照の事)。
6. その他。

となろう。

#### 4.2.2 取り扱うファイル種 (概略)

本テストシステム「ユーテス (YuTes)」では、3種のファイル(「ベースファイル」、「テスト問題ファイル」、「練習問題ファイル」)を扱う。

「ベースファイル」には、一種のテンプレート(雛型)となる「新規作成用テンプレート」ファイルも含まれ、この「テンプレート」ファイルから各種ベースファイルを作っていく。

なお、「新規作成用テンプレート」ファイルには、本システム「ユーテス」で取り扱う4種全ての問題形式(【選択問題(単項)】、【選択問題(複項)】、【選択補充問題】、【記述問題】)の雛型が含まれている。

そして、最終的には、作成された「ベースファイル」を「テスト」に自動変換(詳細はP.32 項目 4.2.5.3.2)する事により、テスト問題が完成する。その意味でも、「ベースファイル」の作成・編集が最も重要な作業と言える。

#### 4.2.3 「ユーテス (YuTes)」で作成可能なテスト問題形式 (概略)

「ユーテス」では、以下の4種の問題形式、すなわち、【選択問題(単項)】、【選択問題(複項)】、【選択補充問題】、【記述問題】を装備している。

<b>【選択問題(単項)】(1-1-1) ?</b>	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
🖋️ ⇒ 指示・説明等を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
<input checked="" type="radio"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<input type="radio"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<input type="radio"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<b>【選択問題(複項)】(1-1-2) ?</b>	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
🖋️ ⇒ 指示・説明等を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
<input checked="" type="checkbox"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<input type="checkbox"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<input type="checkbox"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<input type="checkbox"/> 🖋️ ⇒ 選択肢を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<b>【選択補充問題】(1-1-3) ?</b>	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
🖋️ ⇒ 指示・説明等を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
🖋️	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	
<b>【記述問題】(1-1-4) ?</b>	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
🖋️ ⇒ 指示・説明等を入力してください	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	配点: 25.00
🖋️ ⇒ 解答欄	📄 🗑️ 🗑️ ✂️	

図 11: 4 種の問題形式

【注意】：【選択補充問題】にのみ、背景色がオレンジの鉛筆アイコンがある事、留意願いたい。

#### 4.2.3.1 【選択問題(単項)】

正解を 1 個とする選択形式の問題であり、質問・指示文(すなわち【指示・説明等】)と【選択肢】の内容を記述するだけで完成する(自動採点の対象)。

選択肢は 2 個以上必要であり、正解を 1 個チェックする(左端の○ボタンをクリック)。詳細は P.25 項目 4.2.5.1 を参照されたい。

#### 4.2.3.2 【選択問題(複項)】

正解を 1 個以上とする選択形式の問題であり、質問・指示文(すなわち【指示・説明等】)と【選択肢】の内容を記述するだけで完成する(自動採点の対象)。

選択肢は 2 個以上必要であり、正解は 1 個以上チェックする(左端の□ボタンをクリック)。詳細は P.27 項目 4.2.5.2 を参照されたい。

#### 4.2.3.3 【選択補充問題】

本システムの最も特徴的な問題形式であり、2種のサブ形式、「選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式)」と「空所補充形式」、から成る。

通常、多くの手順を必要とする問題形式であるが、本システムでは、究極の省エネを意図して、当該箇所を選択表示させ、【DDL】ボタンまたは【空所補充】ボタンをクリックするだけで完成する(自動採点の対象)。詳細は P.38 項目 4.2.6.1 を参照されたい。

#### 4.2.3.4 【記述問題】

ユーザからの解答が記述形式のため、「自動採点」ではなく、「教師採点」となるが、当該記述問題の得点欄をクリックするだけで、評価点を設定する事が可能。詳細は P.48 項目 4.2.6.2 を参照されたい。

#### 4.2.4 「ユーテス (YuTes)」の操作方法

上部の「教師メニュー」、「テスト作成」から、サブメニュー群を表示させる。



図 12: 教師メニューをクリックしてサブメニューを展開させた画面 (再掲)

#### 4.2.4.1 ベースファイルの編集に関する基本情報

テスト問題 (練習問題を含む) を作成するには、まずは、「ベースファイル」を作る必要がある。つまり、「テスト問題」は、「ベースファイル」から、「チェック&テスト変換」(P.32 項目 4.2.5.3.2) ボタンをクリックする事により、自動で作られるからである。

なお、ベースファイルの編集について通じているユーザは、直接、P.25 項目 4.2.5 の「編集作業の実例 (1)」、または、P.38 項目 4.2.6 の「編集作業の実例 (2)」を参照されたい。

さて、図 12 に基づき、サブメニューから「ベースファイル一覧」を選択すると「ベースファイル」の一覧が表示される。



図 13: 「ベースファイル一覧」画面

既述のように、「【詳細マニュアル】の表示関連 (表示済みの方は無視されたい)」に従い、詳細マニュアル (このマニュアル) を表示つつ、ベースファイル、テスト問題等を作成される事をお薦めする。

さて、「ベースファイル一覧」画面内には、初期状態では、システムにより作成された一種のテンプレート (雛型)、《新規作成用テンプレート》ファイルが 1 個あるのでこのファイルを編集する。なお、《新規作成用テンプレート》には、全ての問題形式が含まれている。

具体的に、《新規作成用テンプレート》ファイルの「ファイル編集」(注意:「編集」で



は無い)をクリックすると、以下のような【ベースファイルの編集】画面(編集用)が表示される。

図 14: 【ベースファイルの編集】画面(編集用)

上部の「主たる編集操作方法」はトグルボタン形式(クリックにより表示・非表示が切り替わる)となっており、必要に応じて通読されたい。

同じく、「【ベースファイル作成用簡易特別マニュアル】の表示関連」では、本テストシステム「ユータス」に不慣れなユーザに向け、ベースファイルの作成方法を詳述した簡易特別マニュアルであり、PDF表示されるので、是非とも閲覧願いたい。

さて、このベースファイル編集画面では、主として、【保存・設定等の領域】と【編集作業領域】の2つの領域があり、【編集作業領域】で適宜編集してから、保存する手順となる。

なお、四角で囲まれた「？」をクリックすると、「オンラインヘルプ」が表示されるが、【詳細マニュアル】の表示関連から、「教師用マニュアル」(常に最新の内容を反映している)を参照する事をお薦めする。

#### 4.2.4.2 ベースファイル編集の際の入力方法

本テストシステム「YuTes」では、2つの入力方法(「プレーンテキストエディタの起動」と「リッチテキストエディタの起動」)があるが、入力方法について既に通じているユーザは、編集作業の実例(1)(P.25 項目 4.2.5)に進めたい。

1. プレーンテキストエディタ起動: 「⇒...を入力してください」の個所でダブルクリック(シングルクリックでは無い!)するとテキスト(平文)が入力可能となる。

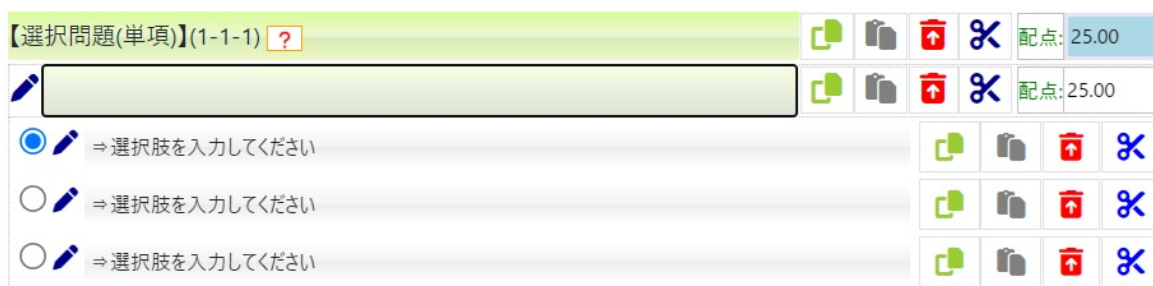


図 15: プレーンテキストエディタを起動した画面

2. リッチテキストエディタ起動: 文字に書式を付加する等、「ワード」のような文字装飾等を可能とするには、鉛筆アイコンをクリックして、リッチテキストエディタを起動する。





図 16: リッチテキストエディタを起動した画面

3. リッチテキストエディタ内の諸機能について：

- (a) 「**Format**」：文字フォントのサイズ、種類、文字色、背景色等々、指定可能。  
まずは、当該文字を反転表示させ、この「Format」ボタンをクリックして、希望の指定を選択する。
- (b) 「**Edit**」：リッチテキストエディタ内に入力されたデータについて編集するため、「Cut」、「Copy」、「Paste」等の機能が含まれる。

特に、リッチテキストエディタ内に入力されたデータを、部分的に削除、全部の削除等々を実行する際には、当該データを反転表示させ、「Cut」を選択する。

エディタ内の全てのデータを選択するには、「Edit」内の「Select all」を選択し(反転表示される)、「Cut」を選択して削除する。なお、エディタ内の入力データに変更・削除等があった場合には必ず【送信】をクリックして保存する事(P.17 項目 3d)。

- (c) 不要な機能：「Insert」と「View」は通常使う必要が無い。
- (d) 【送信】：リッチテキストエディタにて入力した後、必ず、【送信】ボタンをクリックして入力内容を保存する事。
- (e) 【キャンセル】：入力内容を保存せず、リッチテキストエディタを閉じる。
- (f) 【ファイル一覧】：マルチメディアファイル(ここでは、画像、音声、映像の3種のファイルに限定される)を利用するには、このボタンをクリックして、アッ

とされているマルチメディアファイルの一覧を得る。

- i. マルチメディアファイルの一覧が右上に表示される。



図 17: ファイル一覧画面 (1): アップされたファイルが無い状態

- ii. アップされたファイルが無い状態なので、自分のパソコン等 (ローカルパソコン) のマルチメディアファイルをアップロードする。そのためには、右上のファイルリストにある追加アイコンをクリックする。



図 18: 追加アイコンをクリックした状態

- iii. 【ファイルの追加】 の下のメッセージ「ファイル (複数可) をドラッグ&ドロップして下さい。または…」の指示に従い、ローカルパソコン上の任意のマルチメディアファイル (ここでは、画像、音声、映像の 3 種のファイルに限定される) をアップすると、アップされたファイルが自動的にファイル一覧に反映する。



図 19: アップされたファイルが一覧に反映

- iv. ファイル一覧からファイルをクリック選択するとリッチテキストエディタに挿入される。



図 20: 選択されたファイルがリッチテキストエディタに反映

- v. 音声ファイル：音声ファイルは、リッチテキストエディタを閉じてから、再生可能となる。

音声ファイルアイコンをクリックすると、「ベースファイルの編集」画面内の【パーツ表示】のすぐ上に音声再生用プレーヤーが表示され、音声ファイルの再生が自動で開始する。



図 21: 選択された音声ファイルが【パーツ表示】のすぐ上で再生される

- (g) 【DDL】 : P.40 項目 4.2.6.1.2 を参照されたい。
- (h) 【空所補充】 : P.46 項目 4.2.6.1.4 を参照されたい。

#### 4.2.4.3 問題形式、選択肢等を増やしたい場合

例えば、選択肢を現状の3つから、更に3つ増やしたい場合、いずれかの選択肢を、右端の編集用アイコンを使用して、コピー・ペースト(「編集用アイコン」の詳細については P.58 項目 4.2.7.2.3 を参照されたい)する事になる(「パーツ表示」からコピーして各種項目を増やすことも可能 : P.60 項目 4.2.7.3 参照)。

具体的に、選択肢「ベルリン」の右部分の「コピー」アイコンをクリックすると以下のように、右上に、ダイアログが表示される。





図 22:

入力された内容 (「ベルリン」) は不要なので、「入力された内容はコピーしない (骨格のみ)」を選択して「OK」をクリックする。



図 23:

コピーの対象となる選択肢 (ここでは「ベルリン」) が太めの点線で囲まれる。ここで留意すべきは、ペーストアイコンが水色に変わっている点である。これにより、水色アイコンの項目群にのみ貼付可能という事が明示され、ファイル作成者は、どこにペースト可能なのか、と悩む必要が無くなる。

次に、選択肢「フランクフルト」の直後に、新たに、3つの選択を作成するため、選択肢「フランクフルト」の右部分の「ペースト」アイコンをクリックする。



図 24:

表示されたダイアログの「貼付の個数を指定」で数値 3 を入力する。「この項目のどこに貼付しますか」では、「この項目の直後へ」を選択し、「OK」をクリックする。



図 25:

目論見通り、選択肢「フランクフルト」の直後に、新たな選択肢が 3 個作成されている。

「問題形式」そのもの、指示文欄等も、同様の手順で増やす事が可能。コピーアイコンをクリックして、「OK」を選択すると、コピー対象となるデータがオレンジの枠罫線で囲



まれる。

#### 4.2.5 編集作業の実例 (1)

まず、「ベースファイルの編集に関する基本情報、操作手順等 (P.14 項目 4.2.4.1 参照)」については、既に理解されているものとする。ここでは、ベースファイルを編集する簡単な実例として、ベースファイル内の問題形式の増減は度外視して、そのまま、【選択問題 (単項)】と【選択問題 (複項)】の2つの問題形式からなるテスト問題を作成する。なお、【選択補充問題】と【記述問題】については、P.38 項目 4.2.6 の編集作業の実例 (2) にて取り扱う。

1. 【注意 1】：未入力の問題形式 (ここでは残りの【選択補充問題】、【記述問題】) は、テストに変換される際、自動削除されるので、敢えて、削除する必要は無い。むしろ、残しておいたほうが便利と思われる。
2. 【注意 2】：実際のテスト (練習) 問題は、オンラインではなく各自のローカルコンピュータ (各自のパソコン) 上にて、予め、質問・指示文、選択肢、問題内容等を構想・作成し、それを本テストシステムにペーストする事を強くお勧めする。例えば、「ワード」や任意のエディタで構想・作成し、これをコピー&ペーストする。なお、「ワード」で作成した場合、コピーしたい部分を反転表示させ、「**Ctrl** キー」+「**c**」でコピーし、「**Ctrl** キー」+「**Shift** キー」+「**v**」で、本システムの当該箇所にペーストする。

通常、ペーストは「**Ctrl** キー」+「**v**」で実現するが、ワードの場合、飾り・書式もコピーされてしまうため、それらを除去した「平文」として、本システムにペーストするには、「**Ctrl** キー」+「**Shift** キー」+「**v**」のペースト操作となる事、是非、留意されたい。

##### 4.2.5.1 【選択問題 (単項)】作成

まず、【選択問題 (単項)】の内容を考察する。

1. 質問・指示文 (「指示・説明等」)：ドイツの旧首都 (第二次世界大戦直後の首都) はどこですか。
2. 選択肢：ボン
3. 選択肢：ベルリン
4. 選択肢：フランクフルト

とする。

【注意：タイムアウトの回避】なお、「ワード」や「任意のエディタ」などで、予め、質問・指示文、選択肢の内容、選択補充問題の内容等を作成し、「ワード」や「任意のエディタ」から、本テストシステム「YuTes」に、コピー&ペーストする事を是非ともお勧めする。

その理由は、本テストシステム内で、テスト問題内容を構想する場合、多くの時間を要して、タイムアウトが生じる可能性があるからである。通常、タイムアウトまで20分を要するが、構想に20分以上かかるとタイムアウトとなり、システムのセッションが切れ（それまでのデータが消滅する）、再ログインが必要となる。

これは、インターネットの制約に依るものであるが、時間の制約を外す意味でも、テスト問題は、ローカルレベルで、例えば、「ワード」等で作成し、これを本システムにコピー&ペーストするのが最善であろう。

ただし、繰り返しになるが、「ワード」利用での注意点は、「ワード」からコピーし、通常のペースト方法（「Ctrl キー + v」）で貼り付けるのではなく、ワードの書式を外したペースト方法（「Ctrl キー + Shift キー + v」）を取る事、十分に留意されたい。

具体的な編集作業としては、「ベースファイルの編集画面」内の【編集作業領域】内の【選択問題(単項)】にて、

1. 「⇒指示・説明等を入力してください」の個所：「ドイツの旧首都（第二次世界大戦直後の首都）はどこですか。」と入力（またはペースト）する。
2. 「⇒選択肢を入力してください」の個所：「ボン」、「ベルリン」、「フランクフルト」、の3つをそれぞれ入力（またはペースト）し、正解部分である「ボン」の左端の○ボタンをクリックする。

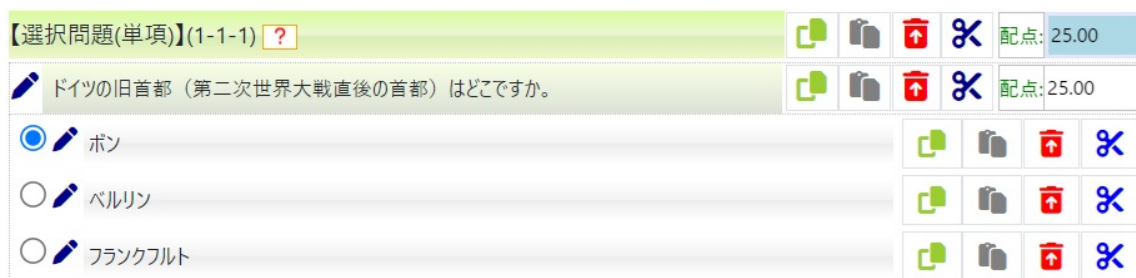


図 26: 【選択問題(単項)】を作成した画面

#### 4.2.5.2 【選択問題(複項)】作成

【選択問題(単項)】同様、【選択問題(複項)】の内容を考察する。また、考察内容は、本システムへのオンライン状態ではなく、予め、「ワード」や任意のエディタに記述し、適宜、「コピー&ペースト」する事を強くお勧めする。

1. 質問・指示文(「指示・説明等」): 北海道内の都市を2つ挙げてください。
2. 選択肢: 小樽市
3. 選択肢: 釧路市
4. 選択肢: 豊中市

【注意1】「ワード」で予めデータを作成し、コピー&ペーストする際の留意点については、P.26 項目 4.2.5.1 の【注意: タイムアウトの回避】を参照されたい。

具体的な編集作業としては、【編集作業領域】内の【選択問題(複項)】にて、

1. 「⇒指示・説明等を入力してください」の個所: 「北海道内の都市を2つ挙げてください。」と入力(またはペースト)する。
2. 「⇒選択肢を入力してください」の個所: 「小樽市」、「釧路市」、「豊中市」、の3つをそれぞれ入力(またはペースト)し、正解部分である「小樽市」と「釧路市」の左端の□ボタンをクリックする。

質問・指示文	配点
北海道内の都市を2つ挙げてください。	25.00
<input checked="" type="checkbox"/> 小樽市	
<input checked="" type="checkbox"/> 釧路市	
<input type="checkbox"/> 豊中市	
<input type="checkbox"/> ⇒選択肢を入力してください	

図 27: 【選択問題(複項)】を作成した画面

【注意2】未入力の質問・指示文(「指示・説明等」)、未入力の選択肢、未入力の選択補充問題等は、テストに変換される際、無視されるので、敢えて、削除する必要は無い。

【注意3】問題形式、選択肢等を増やしたい場合は、P.22 項目 4.2.4.3 の「問題形式、選択

肢等を増やしたい場合」を参照されたい。

#### 4.2.5.3 ファイルの保存

編集されたベースファイルを保存する。保存の種類は、【保存・設定等の領域】に置かれた、「上書き保存」、「別名保存」、「チェック&テスト変換」の3種であるが、編集中のファイルが「新規作成用テンプレート」の場合に限っては、「別名保存」のボタンのみが表示される

その理由は、「新規作成用テンプレート」はテンプレートなので、繰り返し使用できるように、入力内容は持たず、雛型のみを提供するためである。

さて、ここで編集されたファイルは、「新規作成用テンプレート」なので、「別名保存」する。

##### 4.2.5.3.1 「別名保存」の方法

1. 【保存・設定等の領域】に置かれた「別名保存」ボタンをクリックして右上に「別名保存ダイアログ」を表示する。



図 28: 別名保存ダイアログ

2. ファイル名の付け方：ファイル名の付け方は、全く自由であるが、ファイルの整理に有効なので、以下の方針をお薦めする。

(a) 【ベースファイル】の名前：編集された問題形式を示唆する名前が有効と思われる、例えば、「ベースファイル (sm-v01)」とする。この意味は、s(Simple:「選択問題(単項)」)、m(Multiple:「選択問題(複項)」)であり、「ベースファイル (ht-v01)」では、h(「選択補充問題」)、t(「記述問題」)を意味する。

「選択問題(単項)」、「選択問題(複項)」、「選択補充問題」の3種の組み合わせならば、「ベースファイル (smh-v01)」となる。

末尾の「-v01」は、複数のバージョンが考えられるため、「-v02」、「-v03」のように数値で区別する。

この種の名前付けの方針は、あくまでも、個人の趣味の問題であって、縛られ

る必要は全く無い。

(b) 【テスト問題ファイル】 の名前：テスト問題ファイルの名前については、テスト名として、受験者に分かりやすい名前を付けて構わない。例えば、「英語期末テスト」等々。

さて、「別名保存」の方法に戻り、新たなファイル名(ここでは例として「ベースファイル(sm-v01)」、ファイルの説明(「選択問題(単項/複項)のみ」)を入力し、「OK」ボタンをクリックする。



図 29: 別名保存ダイアログ

自動的に、【ベースファイル一覧】画面 (編集用) へ戻るなので、このファイル名が一覧に登録されているか、確認する。

WebAP ユーザホーム ユーザメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[7] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 [?]

① **テストを作成するには**： テストを作成するにはまず【ベースファイル】を作成する必要があります。この【ベースファイル】で具体的に種々のテスト内容を作成し、ほぼ完成した時点で、【チェック&テスト変換】機能により、最終的に【テスト問題ファイル】に自動変換します。

② **【作成方法】**

③ **【詳細マニュアル】の表示関連** (表示済みの方は無視されたい)

④ **【ファイル編集】**： ファイルの中身を編集する。

⑤ **【編集】**： 「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有（他のコースに複写）する。

⑥ **【ソートング】**： [ID]、[ファイル名]、[種別]等、白の背景色の見出しをクリックするとソート可能。

表示件数: 1 ~ 2 件 (全 2 件)

1

**【ベースファイル一覧】画面(編集用)**

ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集・削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時
21	ベースファイル(sm-v01)	選択問題(単項/複項)のみ	<b>【ファイル編集】</b>	<b>【編集】   削除</b>	8	3	7	4	24-08-24 23:37
8	【新規作成用テンプレート】	何も編集していない	<b>【ファイル編集】</b>	<b>【編集】</b>		3	0	4	24-08-24 10:03

1

図 30: 【ベースファイル一覧】画面

- 次に、このベースファイル「ベースファイル (sm-v01)」からテストを作成する。
- 希望のファイル (ここでは、「ベースファイル (sm-v01)」) の【ファイル編集】をクリック選択すると「ベースファイルの編集」画面が表示される。



WebAP		ユーザホーム	ユーザメニュー	教師メニュー	反骨の背枕[7]	パスワードの変更	ログアウト
【問】(1-1)	配点: 100.00	⇒【問】の概要を入力してください(任意)					
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?	配点: 25.00	ドイツの旧首都 (第二次世界大戦後の首都) はどこですか。					
<input checked="" type="radio"/> ボン							
<input type="radio"/> ハルリン							
<input type="radio"/> フランクフルト							
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?	配点: 25.00	北海道内の都市を2つ挙げてください。					
<input checked="" type="checkbox"/> 小樽市							
<input checked="" type="checkbox"/> 釧路市							
<input type="checkbox"/> 豊中市							
<input type="checkbox"/> ⇒ 選択肢を入力してください							
【選択補充問題】(1-1-3) ?	配点: 25.00	⇒ 指示・説明等を入力してください					
	配点: 25.00						
【記述問題】(1-1-4) ?	配点: 25.00	⇒ 指示・説明等を入力してください					
	配点: 25.00						
		⇒ 解答欄					

図 31: 「ベースファイルの編集」画面

「ベースファイルの編集」画面で、さらに編集を加える事も可能であるが、ここでは、「チェック&テスト変換」を使用して、このベースファイルをそのままテストに変換する。

変換時、テストの対象となるのは入力された部分のみであり、未入力部分 (【選択補充問題】、【記述問題】)、未入力の「選択肢」等々は無視されるので、そのまま残しておいて構わない (むしろ残しておいたほうが便利と思われる)。

つまり、「チェック&テスト変換」機能では、「ベースファイル」から、エラーチェック機能と未入力部分の削除機能を働かせ、「テスト問題ファイル」を作成する。

#### 4.2.5.3.2 「チェック&テスト変換」

1. 【保存・設定等の領域】に置かれた「チェック&テスト変換」ボタンをクリックする。



2. テストとしての体裁を満たしているか自動チェックされ、エラーがあれば、【編集作業領域】という表記の直下に、【☆☆=以下にエラー有り=☆☆】と表示され、エラー箇所にて、エラーの内容が明示される。

図 32: エラー表示の例

エラー箇所を修正し、「チェック&テスト変換」ボタンをクリックする(エラーが無くなるまで繰り返す)。

なお、エラーチェックされていない元のファイルに戻すには「ファイルの【再読込】」や「【ファイル一覧】へ」ボタンをクリックする。

【注意: 当該問題形式を未入力状態に戻す】: エラー箇所を修正できない場合は、当該問題形式の「指示・説明等」「選択肢」等の入力データを全て削除して、未入力状態に戻す(P.17 項目 3b 参照)。未入力状態だと、「チェック&テスト変換」の際に無視され、エラーチェックの対象から外れる。

また、未入力状態に戻す別の方法は、鉛筆アイコンをクリックしてリッチテキストエディタを起動し、「Edit」をクリックし、「Select all」を選択して、反転表示さ

せ、「Cut」をクリックすると、当該データが削除される（Delete キーで削除しても良い）。

なお、リッチテキストエディタ内で削除等の変更をした場合は、必ず、「送信」をクリックして保存・確定する必要がある。

- エラーがなければ、【編集作業領域】という表記の直下に、【★☆=エラー無し=☆★】と表示され、同時に、右上に以下のような「保存ダイアログ」が表示される。

The screenshot shows the 'Save Dialog' (保存ダイアログ) window. At the top, there are buttons for '書き保存' (Save), '別名保存' (Save As), and 'チェック&テスト変換' (Check & Test Conversion). Below these are input fields for '総配点: 100 点' (Total Points: 100 points) and 'ファイル名: ベースファイル(sm-v01)' (File Name: base file(sm-v01)). The dialog itself has a title bar '保存ダイアログ' and a close button. It contains several sections: 'ファイル名' (File Name) with a text input field containing 'ベースファイル(sm-v01)'; 'ファイル種' (File Type) with a dropdown menu set to 'テスト問題' (Test Question); 'ファイルの説明(任意)' (File Description (Optional)) with a text input field; and '受験開始・終了時間' (Exam Start/End Time) with two rows of input fields for start and end times, each with a '開始' (Start) or '終了' (End) button. At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The background shows a test question editor with a question about the old capital of Germany and multiple-choice options: Bonn, Berlin, and Frankfurt.

図 33: 【保存ダイアログ】画面

- ファイル名の入力：ファイル名にテストして相応しい名前（ここでは、例えば、テスト名を「意味形態論入門テスト」とする）を入力する。



図 34: 【保存ダイアログ】画面

5. ファイル種: 「テスト問題」が表示されている事を確認する ( 「練習問題」を選択すると「テスト問題」ではなく、「練習問題」となるが、この実例では「テスト問題」を作成する)。
6. 受験開始・終了時間: テスト問題は、開始時刻と終了時刻 (どちらか一方でも構わない) を指定しなければ、公開されず、一般ユーザ (学生) からは見えない。指定する方法は、「開始」、「終了」をクリックしてカレンダーを起動させ、そこから、時刻を選択する。カレンダー下部の「現時刻」は現在の時刻を取得する。  
 なお、開始時刻と終了時刻の両方を指定する場合、当然の事ながら、「終了時刻の方が開始時刻よりも後」でなければならない。  
 指定後、「OK」ボタンをクリックすると、「テスト問題一覧画面 (編集用)」に移るので、作成したテスト問題のファイル名が間違いなく登録されているかを確認する。「テスト問題一覧画面 (編集用)」に移らない場合は、何らかのエラー (よくある

エラーはタイムアウト：P.26 項目 4.2.5.1 参照)が生じている可能性がある。

【注意】この段階で、時刻を指定しなくても、「教師メニュー」、「テスト作成」、「テスト問題一覧」から、当該テスト問題の「編集」ボタン(「ファイル編集」ボタンでは無い)をクリックして時刻を設定する事も可能だが、往々にして、時刻の設定の失念から、テストが公開されずに戸惑う、といった事を避けるためにも、この時点で設定するのが良いかも知れない。

ログイン画面 > ユーザー画面 > 協学教室 > テスト作成 [?](#)

1 **【テスト問題】のファイル編集**：テスト問題は、本来、ベースファイルの編集で、「チェック&テスト変換」により、テスト問題へ変換している筈なので、この段階でこのテスト問題ファイルの中身そのものを編集する事は稀であろう。

2 それでも、編集を要する場合は、以下の**【テスト問題一覧】**画面から、編集したいテスト問題の **【ファイル編集】**をクリックして更なる編集を試みる。

3 **【詳細マニュアル】の表示関連**(表示済みの方は無視されたい)

4 **【ファイル編集】**：ファイルの中身を編集する。

5 **【編集】**：「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有(他のコースに複写)する。「公開開始」、「公開終了」、「制限時間(分)」[?](#)、「正表」[?](#)を編集する。

**注意**：適切な公開時刻(公開開始または公開終了)を設定しなければ一般ユーザからは見えない。(ただし、練習問題は対象外)

6 **【ソーティング】**：[ID]、[ファイル名]、[種別]等、白の背景色の見出しをクリックするとソート可能。

表示件数: 1 ~ 5 件 (全 7 件)

1 2 >

**【テスト問題一覧】画面(編集用)**

ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集・削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表
91	意味形態論入門テスト	入門とはいえず予備知識が必要	<a href="#">【ファイル編集】</a>	<a href="#">【編集】</a>   <a href="#">削除</a>	1	2081	4		24-08-22 14:01	24-08-22 13:59		1	

図 35: テスト問題一覧画面 (編集用)

#### 4.2.5.4 動作確認のためのテスト受験

作成されたテスト問題を実際に受けて、動作を確認する。テストの受け方については、P.64 項目 4.3 を参照されたい。

#### 4.2.5.5 テスト問題 (練習問題も含む) の編集

「ベースファイル」を作成し、それを「テスト問題」に変換するのが通常の方法であるが、「テスト問題」そのものを編集する場合もある。

##### 4.2.5.5.1 【テスト問題一覧】の表示

「教師メニュー」、「テスト作成」から、「テスト問題一覧」を選択する。

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 [?](#)

① **【テスト問題】のファイル編集**：テスト問題は、本来、ベースファイルの編集で、「チェック&テスト変換」により、テスト問題へ変換している筈なので、この段階でこのテスト問題ファイルの中身そのものを編集する事は稀である。

② それでも、編集を要する場合は、以下の **【テスト問題一覧】画面** から、編集したいテスト問題の **【ファイル編集】** をクリックして更なる編集を試みる。

③ **【詳細マニュアル】の表示関連** (表示済みの方は無視されたい)

④ **【ファイル編集】**：ファイルの中身を編集する。

⑤ **【編集】**：「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有（他のコースに複写）する。「公開開始」、「公開終了」、「制限時間(分)」[?](#)、「正表」[?](#)を編集する。

**注意**：適切な公開時刻(公開開始または公開終了)を設定しなければ一般ユーザからは見えない。(ただし、練習問題は対象外)

⑥ **【ソートング】**：[ID]、[ファイル名]、[種別]等、白の背景色の見出しをクリックするとソート可能。

表示件数: 1 ~ 5 件 (全 7 件)

1 2 >

【テスト問題一覧】画面(編集用)

ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集・削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表
91	意味形態論入門テスト	入門とはいえ予備知識が必要	<a href="#">【ファイル編集】</a>	<a href="#">【編集】</a>   <a href="#">削除</a>	1	2081	4		24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1

図 36: テスト問題一覧画面 (編集用)

上部の説明にあるように、【ファイル編集】、【編集】等が可能であるが、ここでは、【編集】(「ファイル名」、「説明」、「公開開始」、「公開終了」、「制時(分)」、「正表」)について補足するので、リンク「編集」をクリックする。なお、「制時」とは「制限時間」を意味する。

**【注意】**：「テスト問題」の【ファイル編集】はあまりお勧めしない。【ファイル編集】の対象は、あくまでも、「ベースファイル(≪新規作成用テンプレート≫を含む)」に限定するのが最もシンプルと思われる。

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト問題の編集

① **操作方法**：変更したい情報を適宜変更し、「保存」ボタンをクリックしてください。

② **共有に関する操作**：以下のファイル名のファイルを共有したい場合は、共有先としたい「コース名」を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。

③ **その他の主たる操作**

テスト問題 の編集

ファイル名

私のテスト問題

説明

最初のテスト問題です

公開開始

クリア

2024/08/28 20:31:00

公開終了

クリア

制限時間

正表

1

コース名

哲学教室

保存

戻る

図 37: テスト問題の編集画面



上部の説明の「その他の主たる操作」はトグル形式となっており、クリック毎に表示・非表示が切り替わる。とりわけ、「公開開始・公開終了」(必須：どちらか一方でも構わない)、「制限時間」(任意)について留意されたい。

#### 4.2.6 編集作業の実例(2)

編集作業の実例(1)にて、【選択問題(単項)】と【選択問題(複項)】の実例を見たが、ここでは残りの問題形式、【選択補充問題】と【記述問題】の2種について説明する。

なお、P.25 項目 25 の「編集作業の実例(1)」の内容については既に通読されているものとする。

##### 4.2.6.1 【選択補充問題】の作成

【選択補充問題】は、本システムの最も特徴的な問題形式であり、以下の2種のサブ形式(「選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式: DDL 形式)」と「空所補充形式」)から成る。

通常、多くの手順を必要とする問題形式であるが、本システムでは、究極の省エネを意図して、当該箇所を反転表示させ、【DDL】ボタンまたは【空所補充】ボタンをクリックするだけで完成する(自動採点の対象)。

なお、一つの【選択補充問題】内に、2種のサブ形式(「選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式: DDL 形式)」と「空所補充形式」)が混在していても構わない。

##### 4.2.6.1.1 選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式: DDL 形式)

◀問題の構想▶

1. 質問・指示文(「指示・説明等」): 正解を選択してください
2. 選択補充問題の素材文の内容:

(1)Where are you *from*?

(2)I *studied* at the University of Chicago.

という2つの英文について、イタリック部分を正解とする選択問題を作成するものとする。

英文(1)では、「from」を正解とし、例えば、「to」、「before」を誤答とする場合、(1a)Where are you from(to,before)?

のように、正解(「from」)の直後に、「半角括弧開き+誤答+半角括弧閉じ」とし

て、誤答を記述する。誤答は半角のコンマで複数記述が可能なので、(to,before) となる。

英文 (2) についても、同様に、誤答を例えば、「studies」、「studied」、「studded」とする場合、

(2a)I studied(studies,studied,studded) at the University of Chicago.

のように、正解である「studied」の直後に、「半角括弧開き+誤答+半角括弧閉じ」として、誤答を記述する。この場合は、3 個の誤答を設定している。

**【注意 1】**【選択補充問題】の選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式:DDL形式)では、正解以外、少なくとも 1 個の誤答を指定する必要がある。

**【注意 2】**「誤答」が選択されれば、得点はゼロとなるが、「誤答」ではなく、「準正解」を設定する事も可能である。この場合は、誤答の直後に「半角コロン+半角の得点比率」を付記する。具体的には、

(2b)I studied(studies:80,studied,studded:30) at the University of Chicago.

とした場合、「studies」には、正解の得点の 80% が、「studded」には正解の得点の 30% が与えられる。「studied」には得点比率が付加されていないので、これが選択されれば 0 点となる。

3. ワード等による問題文の作成：テスト問題の考察・構想には時間を要する場合があります、本システムにログイン状態で問題文等を考える事は避けられたい。というのも、ネットの制約上、通常、20 分を超えると、自動的に接続が切れる(セッション切れ)ので、予め、「ワード」等で質問・指示文(「指示・説明等」)、選択補充問題の素材文の内容等を記述しておく事を強くお勧めする。そして、問題データをコピー&ペーストで、本システムの当該箇所に配置するのが最善であろう。

**【注意 1】**「ワード」で予めデータを作成し、コピー&ペーストする際の留意点については、P.26 項目 4.2.5.1 の**【注意：タイムアウトの回避】**も参照されたい。

#### 《問題作成の手順》

1. まずは、P.14 項目 4.2.4.1 の「ベースファイルの編集に関する基本情報」に従い、ベースファイルの「新規作成用テンプレート」を表示する(無論、既存のベースファイルでも構わない)。
2. 以下の図は、【選択補充問題】の初期状態(未入力状態)であるが、質問・指示文(指示・説明等)は、他の問題形式同様、最初の「鉛筆アイコン」欄のプロンプト文「⇒指示・説明等を入力してください」の個所に入力する(この箇所をダブルクリック

するとプレーンテキスト入力モードとなる)。

図 38: 【選択補充問題】の初期状態 (未入力状態)

3. 質問・指示文の入力 (貼り付け) : 質問・指示文 (指示・説明等) の内容は、《問題の構想》で取り上げた「正解を選択してください」とする。

図 39: 質問・指示文 (指示・説明等) を入力した画面

4. 問題内容文の入力 (貼り付け) : 以下、【選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式)】であれ、【空所補充形式】であれ、問題内容文については、背景色がオレンジの鉛筆アイコンをクリックして、リッチテキストエディタを起動し、その内の「⇒ 選択補充問題を入力してください」という箇所に入力 (または貼り付け) していく (P.40 項目 4.2.6.1.2 の「選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) の問題内容の入力」参照)。

4.2.6.1.2 選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式 : DDL 形式) の問題内容の入力  
既に構想された【選択補充問題】の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) の問題内容を再掲する。

- (1) Where are you from(to,before)?
- (2) I studied(studies,studyed,studded) at the University of Chicago.

1. 問題内容の入力 (貼り付け) : 英文 (1) と英文 (2) の内容を、リッチテキストエディタ内の「⇒ 選択補充問題を入力してください」という箇所に入力 (または貼り付け) していく。



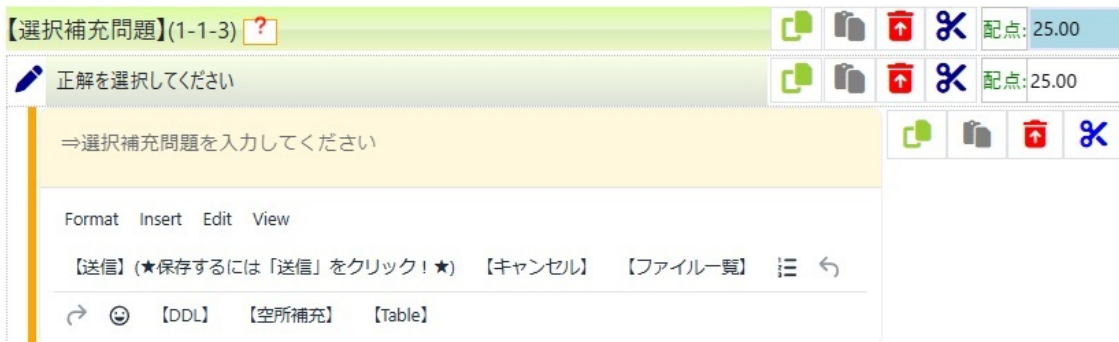


図 40: 背景色がオレンジの鉛筆アイコンをクリックし、リッチテキストエディタ起動



図 41: 選択補充問題の内容が入力された状態

2. そして、「from(to,before)」の部分を選択表示 (当該箇所にマウスポインタを置き、右にドラッグする) させる。最後の「半角括弧閉じ」も含まれる事、留意されたい。



図 42: 当該部分を反転表示させる

3. リッチテキストエディ下部の【DDL】ボタンをクリックすると自動的に選択ボツ

クス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される。

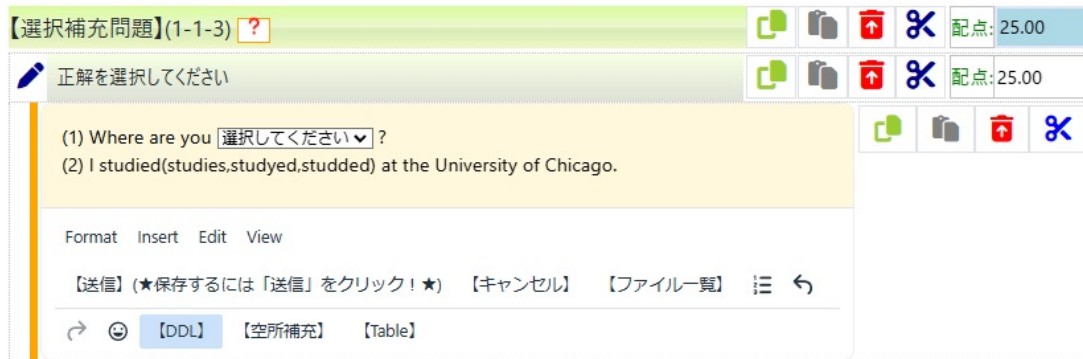


図 43: 選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される

- 「studied(studies,studied,studded)」の部分についても、同様の処理を施す。すなわち、「studied(studies,studied,studded)」の部分 を反転表示 (当該箇所にマウスポインタを置き、右にドラッグする) させる。最後の「半角括弧閉じ」も含まれる事、留意されたい。



図 44: 当該部分を反転表示させる

- リッチテキストエディ下部の **【DDL】** ボタンをクリックすると自動的に選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される。



図 45: 暫定の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される

6. 【送信】 ボタンの押下を忘れずに：編集された内容を保存するためには、忘れずに、【送信】 ボタンをクリックする。リッチテキストエディタが閉じられ、最終形を選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が完成する。

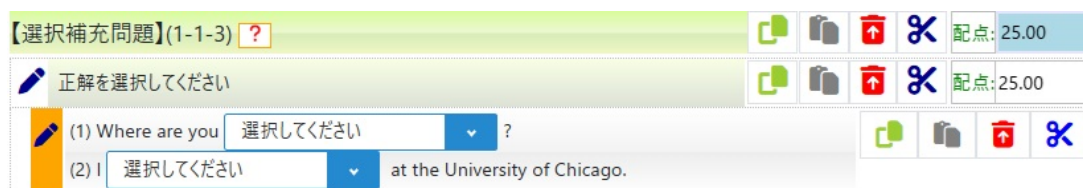


図 46: 最終の選択ボックス形式 (ドロップダウンリスト形式) が作成される

7. 問題内容の削除：問題内容の作成がうまくいかない場合は、以下の【リッチテキストエディタ内に入力されたデータの消去方法】(P.43 項目 8) を参照されたい。
8. 誤答を準正解に変えたい場合：当該誤答の直後に「半角コロン+得点率」を付記する (上記英文 (2b)P.39 参照)。

既に、リッチテキストエディタ内に入力されたデータがある場合は、これを予め、全て消去してから、新たに入力するのが簡便と思われる。

【リッチテキストエディタ内に入力されたデータの消去方法】：リッチテキストエディタ内に入力されたデータを消去するには、

- (a) 部分消去：当該部分を反転表示させ、「Edit」内の「Cut」をクリックして消去。
- (b) 全体消去：「Edit」内の「Select all」をクリックして、「Cut」をクリックして消去。

等の方法がある。

それでも、不都合が生じる場合は、選択補充問題を「コピー」(入力された内容は

コピーしない) & 「ペースト」して、1 個増やし、それから、不都合の生じている「選択補充問題」を消去する。そうする理由は、ベースファイルのレベルでは、2 個以上の項目については削除可能であるが、1 個しか存在しない項目については削除不可としているからである。

9. 【制約】：本形式の選択ボックス形式(ドロップダウンリスト形式)では、選択問題である以上、正解以外、誤答または準正解が1 個以上必要となる。
10. 【注意】：もし、操作ミス等が生じてこの形式の問題を作成できなかった場合は、上部、【編集作業領域】と表記されている所の右横の「ファイルの【再読込】」または「【ファイル一覧】へ」をクリックして更の状態に戻すのが最も簡単と思われる。あるいは、当該問題形式について、入力されたデータを消去して、未入力状態に戻す事も可能である。その方法については、【リッチテキストエディタ内に入力されたデータの消去方法】(P.43 項目 8)を参照されたい。

#### 4.2.6.1.3 空所補充形式(穴埋め問題形式)

《問題の構想》

1. 質問・指示文(「指示・説明等」)：空所を補充してください
2. 選択補充問題の素材文の内容：選択ボックス形式の素材文を転用する。
  - (1)Where are you *from*?
  - (2)I *studied* at the University of Chicago.という2つの英文について、イタリック部分を正解とする空所補充形式の問題を作成するものとする。

英文(1)では、「from」を正解とする(準正解を持たない)。

英文(2)については、正解の「studied」以外に準正解(studies:40,studied:15)を指定するものとする。既述のごとく、準正解の指定方法(P.39 項目 2)は、誤答の直後に「半角コロン+半角の得点比率」を付記する。具体的には、

(2a)I studied(studies:40,studied:15) at the University of Chicago.

となる。

すなわち、「studied」が正解であり、準正解の「studies」には、正解の得点の40%が、準正解の「studied」には正解の得点の15%が与えられる。念のため、準正解は、正解の直後に半角括弧開き+準正解+半角括弧閉じが付加される。
3. ワード等による問題文の作成：テスト問題の考察・構想には時間を要する場合があ

り、本システムにログイン状態で問題文等を考える事は避けられたい。というのも、ネットの制約上、通常、20分を超えると、自動的に接続が切れる(セッション切れ)ので、予め、「ワード」等で質問・指示文(「指示・説明等」、選択補充問題の素材文の内容等を記述しておく事を強くお勧めする。そして、問題データをコピー&ペーストで、本システムの当該箇所に配置するのが最善であろう。

【注意1】「ワード」で予めデータを作成し、コピー&ペーストする際の留意点については、P.26 項目 4.2.5.1 の【注意：タイムアウトの回避】も参照されたい。

#### 《問題作成の手順》

1. ベースファイルの呼び出し：まずは、P.14 項目 4.2.4.1 の「ベースファイルの編集に関する基本情報」に従い、ベースファイルの「新規作成用テンプレート」を表示する(無論、既存のベースファイルを選択し、これに追加する形でも構わない)。
2. 未入力状態：以下の図は、【選択補充問題】の初期状態(未入力状態)であるが、「質問・指示文(指示・説明等)」は、他の問題形式同様、最初の「鉛筆アイコン」欄のプロンプト文「⇒指示・説明等を入力してください」の個所に入力する(この箇所をダブルクリックするとプレーンテキスト入力モードとなる)。なお、既述のように、入力時間を省くためにも、予め、ワード等で文案を作成し、ここから貼り付けるのが最善と思われる。



図 47: 【選択補充問題】の初期状態(未入力状態)

3. 質問・指示文の入力(貼り付け)：上記《問題の構想》で記したように、質問・指示文(「指示・説明等」として、「空所を補充してください」と入力する(または貼り付ける)。

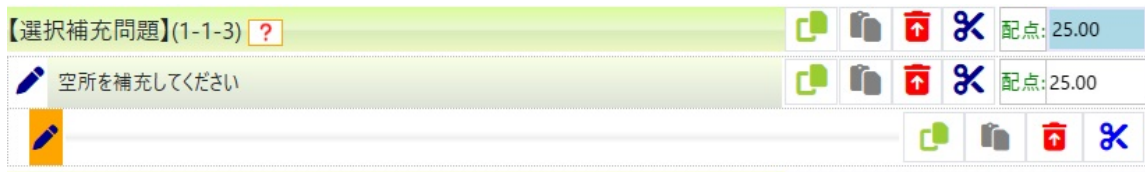


図 48: 質問・指示文 (指示・説明等) を入力した画面

#### 4.2.6.1.4 空所補充形式の問題内容の入力

1. リッチテキストエディタの起動: 「具体的な問題内容」については、鉛筆アイコン (オレンジの背景色) をクリックするとリッチテキストエディタが起動し、「⇒選択補充問題を入力してください」というプロンプト文が新たに表示される。



図 49: 背景色がオレンジの鉛筆アイコンをクリックし、リッチテキストエディタ起動

#### 2. 問題内容文の入力 (貼り付け):

「⇒選択補充問題を入力してください」の部分に問題内容文

(1)Where are you from?

(2)I studied(studies:40,studyed:15) at the University of Chicago.

を入力 (または貼り付け) する。





図 50: 問題文が入力された画面

3. 正解の反転表示：正解「from」を反転表示させる。



図 51: 正解「from」を反転表示した画面

4. 【空所補充】ボタン：【空所補充】ボタンをクリックする。



図 52: 【空所補充】ボタンをクリックすると「正解」が隠れ、暫定入力ボックスが表示される

同様に、英文 (2) についても、「studied(studies:40,studied:15)」を反転表示させ、【空所補充】ボタンをクリックする。



【選択補充問題】(1-1-3) ? 配点: 25.00

空所を補充してください 配点: 25.00

(1)Where are you \_\_\_\_\_ ?  
(2)I \_\_\_\_\_ at the University of Chicago.

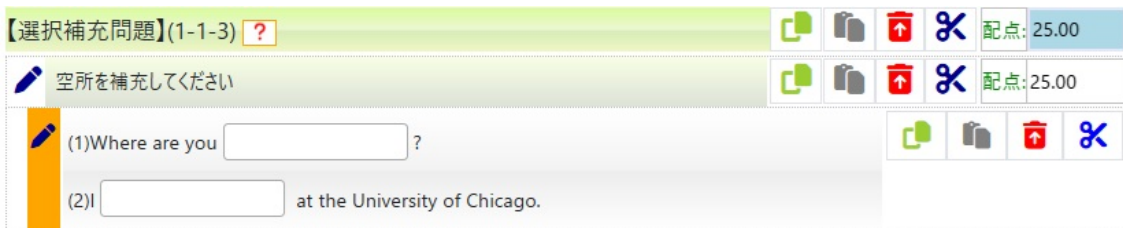
Format Insert Edit View

【送信】(★保存するには「送信」をクリック!★) 【キャンセル】 【ファイル一覧】 ☰ ←

→ ☺ 【DDL】 【空所補充】 【Table】

図 53: 暫定入力ボックスが表示される

5. 【送信】ボタン：【選択補充問題】空所補充形式の問題作成を終えたので、必ず【送信】ボタンをクリックして、作成内容を保存する。



【選択補充問題】(1-1-3) ? 配点: 25.00

空所を補充してください 配点: 25.00

(1)Where are you \_\_\_\_\_ ?  
(2)I \_\_\_\_\_ at the University of Chicago.

図 54: 最終形の空所補充用入力ボックスが表示される

#### 4.2.6.2 【記述問題】の作成

「教師メニュー」、「テスト作成」、「ベースファイル一覧」を選択する。



WebAP ユーザホーム ユーザメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[7] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 [?]

① **テスト作成の流れ**：テストを作成するにはまず「新規作成用テンプレート」を使って、「ベースファイル」を作成する必要があります。この【ベースファイル】で具体的に種々のテスト内容を作成し、ほぼ完成した時点で、【チェック&テスト変換】機能により、最終的に【テスト問題ファイル】に自動変換します。

② **【作成方法】**

③ **【詳細マニュアル】の表示関連** (表示済みの方は無視されたい)

---

① **【ファイル編集】**：ファイルの中身を編集する。

② **【編集】**：「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有（他のコースに複写）する。

③ **【その他】**

表示件数: 11 ~ 11 件 (全 11 件)

④ **「新規作成用テンプレート」** は最後のページにあります

< 1 2 3

**【ベースファイル一覧】画面(編集用)**

ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集・削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時
8	「新規作成用テンプレート」	何も編集していない	<a href="#">【ファイル編集】</a>	<a href="#">【編集】</a>		3	0	4	24-08-28 01:21

< 1 2 3

© 2024 - WebAP

図 55: 「ベースファイル一覧」画面 (編集用)

**【注意】** 希望するベースファイルが無ければ、P.14 項目 4.2.4.1 に従い、「新規作成用テンプレート」を介して、ベースファイルを作成する。

「ベースファイル一覧」画面内の希望のファイルの「ファイル編集」(注意:「編集」では無い)をクリックすると、以下のような「ベースファイルの編集画面 (編集用)」が表示される。

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 [?] > ベースファイル一覧

【ベースファイルの編集】画面 (編集用)

① 主たる編集操作方法

- ② 【ベースファイル作成用簡易特別マニュアル】の表示関連
- ③ 【詳細マニュアル】の表示関連 (表示済みの方は無視されたい)

【パーツ表示】 [?]

【保存・設定等の領域】 [?]

別名保存 総配点:  点 ファイル名:  (ID=8)

総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:25.00点)

【編集作業領域】 [?]

【テスト問題】(1)		配点:100.00
⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)		
【問】(1-1)		配点:100.00
⇒【問】の概要を入力してください(任意)		
【選択問題(単項)】(1-1-1) [?]		配点:25.00
⇒ 指示・説明等を入力してください		配点:25.00
<input checked="" type="radio"/> ⇒ 選択肢を入力してください		
<input type="radio"/> ⇒ 選択肢を入力してください		
<input type="radio"/> ⇒ 選択肢を入力してください		

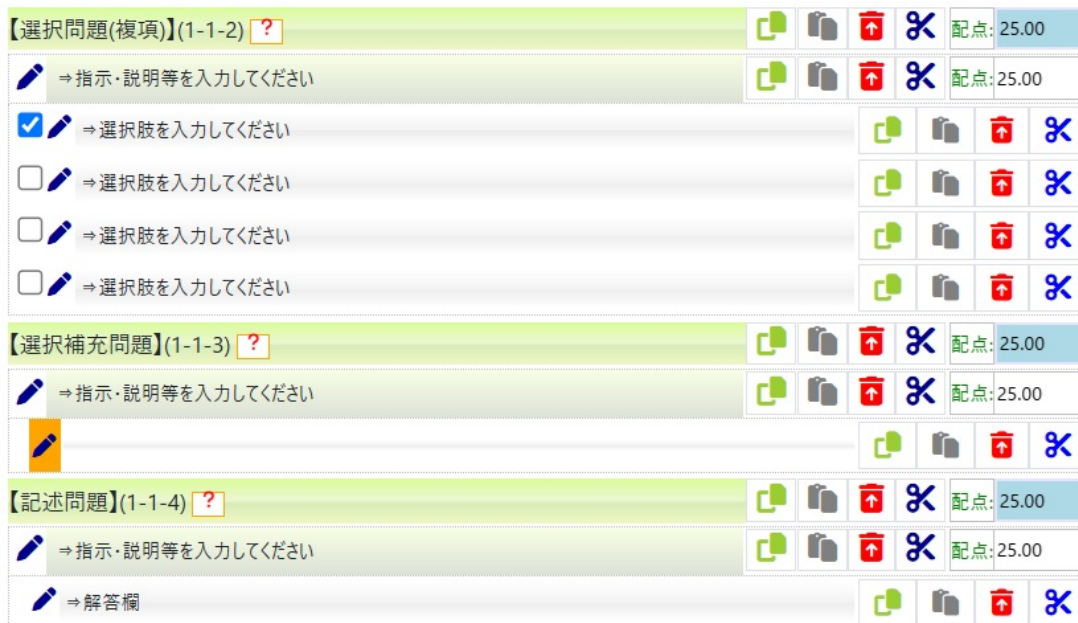


図 56: 「ベースファイルの編集」画面

ここで、【記述問題】の「⇒指示・説明等を入力してください」の個所で、例えば、「光速よりも速い物質が存在するかについて、自由に記述してください。」と入力する(ダブルクリックでプレーンテキスト入力モード、または鉛筆アイコンのクリックで、リッチテキストエディタモードとなる)。

なお、リッチテキストエディタで入力した場合必ず、【送信】をクリックしてデータを保存・確定する事)。そして、「解答欄」には、必要に応じて、模範解答を入力する(模範解答は任意であり、教師用の備忘録に利用可能)。

編集後は、ファイル内容を保存する必要がある(新規作成用テンプレートならば「別名保存」P.53 項目 4.2.7.1.2 を選択する)。

【注意】：ベースファイルをテストに変換する方法については、「チェック&テスト変換」(P.53 項目 4.2.7.1.3) を参照されたい。

なお、ユーザからの解答が記述形式のため、「自動採点」ではなく、「教師採点」となるが、当該記述問題の得点欄をクリックするだけで、評価点を設定する事が可能。

#### 4.2.6.2.1 記述問題における「教師採点」の方法

1. 「教師メニュー」から、サブメニュー、「成績関連」、「成績一覧(クラス全体)」を選択する(P.66 項目 4.4 も参照されたい)。

【注意1】：言うまでもなく、受験者がいなければ、成績一覧には表示されない。あくまでも、当該クラスのメンバーがテストを受験して初めて、【成績】一覧に表示される。

【注意2】：教師採点の対象となるのは、【テスト問題】の初回受験時のみである。2回目以降の場合、また、【練習問題】の場合は、対象とならない。

【注意3】：当該【記述問題】において、ユーザからの解答が無い場合、教師による採点を待つまでも無く、システムが自動的に「ゼロ点」と採点する。つまり、教師採点の対象とはならない。

[ログイン画面](#) > [ユーザホーム画面](#) > [哲学教室](#) > [成績関連](#)

- ❗ **採点結果表示**：【成績】一覧画面にて、希望のテスト(練習)問題ファイルの「採点結果」をクリックする。
- ❗ **正解表示**：【成績】一覧画面にて、希望のテスト(練習)問題ファイルのリンク「正解表示」をクリックする。
- ❗ **教師採点**：テスト問題の中に「自動採点」ではなく「教師採点」の対象となる【記述問題】が存在する場合、【成績】一覧画面にて、希望のテスト(練習)問題ファイルのリンク「[正解表示\(記述問題採点\)](#)」をクリックする。【記述問題】が無ければ教師採点も不要。
- ❗ **注意**：教師採点は、初回のテスト受験のみ可能であり、2回目以降の受験については、対象とならない。

表示件数: 1 ~ 5 件 (全 12 件) : 白の背景色の見出しをクリックするとソート可能

1 2 3 >

【成績】一覧画面 (教師用)										
ID	UID	氏名	FID	ファイル名	採点結果	採点結果 + 正答	試行	作成時刻	役割	得点情報
788	7	反骨の背枕	63 (テスト)	BF_01_txa_02_test	<a href="#">採点結果</a>	<a href="#">正解表示(記述問題採点)</a>	1:(1)	12-17 01:23	5	
778	7	反骨の背枕	52 (練習)	BF_00_ex01acd	<a href="#">採点結果</a>		2:(1)	12-17 01:20	5	
758	9	ユ-コム花子	61 (テスト)	BF_txa01_test01	<a href="#">採点結果</a>	<a href="#">正解表示(記述問題採点)</a>	1:(1)	12-17 00:42	0	
754	7	反骨の背枕	61 (テスト)	BF_txa01_test01	<a href="#">採点結果</a>	<a href="#">正解表示(記述問題採点)</a>	1:(1)	12-16 22:36	5	
748	7	反骨の背枕	59 (練習)	ベースファイル0 2_ex01	<a href="#">採点結果</a>	<a href="#">正解表示(記述問題採点)</a>	1:(1)	12-16 22:33	5	

図 57: 【成績】一覧画面 (教師用) 画面

- 任意のテスト (練習) 問題の「[正解表示 \(記述問題採点\)](#)」(「採点結果」では無い!) をクリックして、ユーザ解答を表示する (【記述問題】が無ければ「教師採点」も無用)。

【記述問題】(1-1-1)	配点: 100.00
光速よりも速い物質が存在するかについて、自由に記述してください。	<input type="text"/>
宇宙は膨張しているとされるが、この膨張の速度がいずれは光速を越えるという理論がある。	配点: 100.00

図 58: 【ユーザによる解答】

- 配点のすぐ左横の入力欄に教師が配点以下の得点 (小数点 2 位まで可能) を入力し、

エンターキーを押す。エンターキーを押さなければ、有効にならない。ここでは、例として、配点が 100 なので、91.33 を入力した。

4. 教師採点の個所の背景色が黄色になる。



The screenshot shows a question titled "【記述問題】(1-1-1)" with a score of 100.00. The question text is "光速よりも速い物質が存在するかについて、自由に記述してください。" and "宇宙は膨張しているとされるが、この膨張の速度がいずれは光速を超えるという理論がある。". The score input field contains "91.33" and is highlighted in yellow. The score is also displayed as "100.00" on the right.

図 59: 【教師採点】成功画面

5. 未採点の状態に復帰するには：配点のすぐ左横の入力欄に半角で、「-1」（マイナス 1）を入力し、エンターキーを押す。エンターキーを押さなければ、有効にならない。

#### 4.2.7 編集操作の軽減について

本テスト作成システム「ユーテス」は、作成者の操作負担を極限にまで減らす事を目指している。具体的には、原則として、「クリック選択」により主たる編集を行う事ができ、そのために有用なボタン類を揃えている。

##### 4.2.7.1 【保存・設定等の領域】における各種機能ボタン

###### 4.2.7.1.1 【上書き保存】

【ベースファイルの編集】画面（編集用）にて、編集されたファイル内容を元のファイル名で上書き保存する。

###### 4.2.7.1.2 【別名保存】

【ベースファイルの編集】画面（編集用）にて、編集されたファイル内容を別のファイル名で保存する。

###### 4.2.7.1.3 【チェック&テスト変換】

編集を終えた「ベースファイル」を「テスト（練習）問題」として公開したい場合にこのボタンをクリックする。エラーがあれば、自動的にチェックされ、その旨、表示される（P.32 項目 4.2.5.3.2 参照）。

#### 4.2.7.1.4 【総配点】：自動配点と固定配点

「チェック&テスト変換」のすぐ右隣の「総配点」(満点を意味する)の右横の入力欄(デフォルトは100)に任意の数値(小数点2位まで可能)を入力し、エンターキーを押すと、この新たな総配点(満点)に応じて、各問題形式の配点が自動で均等に変更される(「自動配点」)。

仮に、総配点を250点として、問題形式が8題あった場合、各問題に均等に、31.25点づつが自動で配点される。配点を部分的に変更したい場合は、「固定配点」(P.54 項目4.2.7.1.5)の仕組みを利用する。

#### 4.2.7.1.5 <固定配点の仕組み>

配点は、システムが自動で均等に割り振りする(「自動配点」)が、問題によっては、教師の望む配点(「固定配点」)としたい場合もあり得る。

1. 総配点(満点)の確認：その際には、まずは、「総配点(満点)」(P.54 項目4.2.7.1.4 参照)がデフォルトの100で良いのか、再吟味し、変更したい場合は、固定配点処理の前に、「総配点(満点)」を適宜変更する。  
ここでは、総配点(満点)をデフォルトのまま、「100」点に設定しているものとする。問題数は、P.55 図60のように、合計4問とする(【選択問題(単項)】、【選択問題(複項)】、【選択補充問題】、【記述問題】の4個)。従って、自動配点では、各問、25点が均等に配点される。



上書き保存	別名保存	チェック&テスト交換	総配点: 100 点	ファイル名: ベースファイル 0 0	(ID=54)
総配点:100点(自動採点:75.00点 教師採点:25.00点)					
【編集作業領域】 ?					
ファイルの【再読み込み】		【ファイル一覧】へ			
【テスト問題】(1)					
⇒【テスト問題】の概要を入力してください(任意)					配点: 100.00
【問】(1-1)					
⇒【問】の概要を入力してください(任意)					配点: 100.00
【選択問題(単項)】(1-1-1) ?					
成人の男性の体液は一般に体重の何パーセントですか。					配点: 25.00
<input checked="" type="radio"/>	60パーセント				配点: 25.00
<input type="radio"/>	70パーセント				配点: 25.00
<input type="radio"/>	80パーセント				配点: 25.00
<input type="radio"/>	⇒選択肢を入力してください				配点: 25.00
【選択問題(複項)】(1-1-2) ?					
一般に、犬にとって苦手な匂いは何か、二つ選択してください。					配点: 25.00
<input checked="" type="checkbox"/>	タバコ				配点: 25.00
<input checked="" type="checkbox"/>	アルコール				配点: 25.00
<input type="checkbox"/>	リンゴ				配点: 25.00
<input type="checkbox"/>	バナナ				配点: 25.00
【選択補充問題】(1-1-3) ?					
⇒指示・説明等を入力してください					配点: 25.00
【記述問題】(1-1-4) ?					
⇒指示・説明等を入力してください					配点: 25.00
⇒解答欄					配点: 25.00

図 60: 総配点 (満点 : 100) と問題総数 (4)

- 水色の配点 : その後、固定配点処理を実施するが、その際には、同一レベルの配点を確定する必要があるが、本システムでは、配点が水色で表示されている。つまり、水色の配点群が、同一レベルのグループであり、この中からいずれかの配点を変更する (複数の変更が可能) とそれが固定配点となる (残りの問題形式が「自動配点」の対象となる)。なお、変更可能な数値範囲は、その上、すなわち親となる項目、ここでは「【問】(1-1)」の配点「100」以下となる。
- 固定配点処理 【選択問題 (複項)】の配点を 40 点に固定する場合 : 仮に【選択問題 (複項)】の現在の配点 25 点を 40 点に変更・固定したいとする。【選択問題 (複項)】



の右端の配点を「25.00」から「40」（半角の数字でなければならない）に変更してエンターキーを押す。他の問題形式は、自動的に、配点「20.00」となる。つまり、満点の100から、固定配点の40を引くと60になり、自動配点対象の3個の問題形式で均等割りするので、「20」となる。

The screenshot shows a software interface for editing a test. At the top, there are buttons for '上書き保存' (Save Overwrite), '別名保存' (Save As), 'チェック&テスト変換' (Check & Test Conversion), and a text box for '総配点: 100' (Total Points: 100). Below this, a status bar shows '総配点:100点(自動採点:80.00点 教師採点:20.00点)'. The main area lists several question items, each with a score field on the right:

- 【テスト問題】(1) 配点: 100.00
- 【問】(1-1) 配点: 100.00
- 【選択問題(単項)】(1-1-1) 配点: 20.00
- 【選択問題(複項)】(1-1-2) 配点: 40.00
- 【選択補充問題】(1-1-3) 配点: 20.00
- 【記述問題】(1-1-4) 配点: 20.00

図 61: 固定配点の実例

#### 4. リセット :

固定配点を自動配点に戻すには、「-1」を入力、エンターキーを押す。なお、「総配点(満点)」を変更すると「固定配点」は常に自動的に「自動配点」に戻る。

【注意】: 本システムの配点システムは、自動配点と固定配点の2種からなるが、ベースファイルレベルでは、「未入力の問題形式」(P.25 参照)についても、自動配点の対象とな

る。つまり、P.56 図 61 に見られるように、未入力の問題形式、すなわち、【選択補充問題】と【記述問題】にも、「20」の配点がなされている。

もし、このベースファイルから、「チェック&テスト変換」により、テスト問題を作成する場合、未入力の問題形式は無視されるため、【選択問題(複項)】は固定配点設定のため「40」が、そして残りの問題形式には「60」が割り振られるが、以下の P.57 図 62 では、残りの問題形式が 1 個のみであるため、【選択問題(単項)】に「60」が割り振られる。



図 62: テスト問題の配点の実例

このように、「ベースファイル」レベルと「テスト(練習)問題」レベルでは、配点結果が異なり得る事、十分に留意されたい。

【注意】: なお、こうした「配点結果の相違」を避けるためには、最終的に編集された「ベースファイル」にて、未入力の問題形式を全て削除してから、「チェック&テスト変換」を選択する。

こうすれば、問題総数が、「ベースファイル」と「テスト(練習)問題」の両者において、変わらないため、自動配点、固定配点、いずれもが作成者の意図通りになると思われる。

本テスト(練習)問題作成システム(「ユーテス」)に不慣れなユーザが「固定配点」を利用する場合、この「削除方式」を強くお勧めする。

#### 4.2.7.2 【編集作業領域】における各種機能ボタン

##### 4.2.7.2.1 【ファイルの再読込】

編集前の元のファイルが読み込まれる。

##### 4.2.7.2.2 【ファイル一覧へ】

ベースファイル一覧へ戻る。

##### 4.2.7.2.3 【各種編集用アイコン】

各種編集用アイコンはマウスを重ねるとその機能（Copy、Paste、Trash、Cut）が表示される。

1. 【コピー】：当該項目（サブの項目も含む）を複製する。例えば、【選択問題(単項)】の最初の選択肢欄をコピーする場合、その欄の右部分のコピーアイコンをクリックすると以下の「コピー用ダイアログ画面」が表示される。



図 63: コピー用ダイアログ画面

「入力された内容もコピーする」あるいは、「入力された内容はコピーしない(骨格

のみ)」のいずれかを選択し「OK」をクリックする。

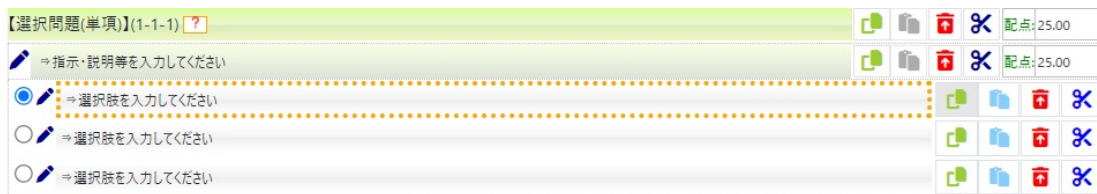


図 64: コピー元の明示画面

コピー元がオレンジの罫線で囲まれ、かつ、ペースト(「貼付」)可能な個所のペーストアイコンの色が水色になっているので、ペーストする位置に悩む必要がなくなる。

貼り付けたい水色の貼付アイコンをクリックする。

2. 【貼付】: コピーされた項目を【貼付】対象の項目の上部(直前)または下部(直後)に貼り付ける。

まずは、複写したい任意の項目の「コピー編集アイコン」をクリックしてダイアログ起動し、貼り付けの個数を指定、貼り付けの位置を市指定して、「OK」をクリックすると、



図 65: ペースト先の候補を水色で明示

貼付の個数を指定する欄で、その個数を指定する。通常は、1個なので「1」として

いる。

貼付の位置を、「この項目の直前へ」か「この項目の直後へ」かいずれかを選択し「OK」をクリックすると指定した位置に指定した個数、貼付られる。



図 66: 選択肢を 1 個追加した画面

重要な点は、この貼付アイコンの色が水色に変わって初めて、貼り付けが可能になる。というのも、コピーした項目がどの項目に貼り付け可能かをユーザが迷う場合も想定されるので、その負担を軽減するために、本システムが貼り付け可能な項目を水色によって明示する。つまり、水色に変わった貼付アイコンを選ぶだけで貼り付けられ、迷う必要が無くなる。

3. 【削除】：当該項目（サブの項目も含む）を削除する
4. 【カット】：当該項目（サブの項目も含む）をカットし、それを任意の項目に貼り付ける（貼り付けた時点で、カットされる）。

#### 4.2.7.3 【パーツ表示】ボタン

【編集作業領域】内に、必要な項目（各種問題形式、選択肢等）が無い場合は、パーツ表示から、コピー&ペーストする事ができる。ただし、通常、「ベースファイル」に 4 種全ての問題形式が残っているので、【パーツ表示】に頼らず、【編集作業領域】内の任意の項目を、右端の「編集アイコン」を使って、コピー&ペーストするのが早道であろう。

#### 4.2.8 ファイルの共有操作

テストシステム「ユーテス」で作成された「ベースファイル」、そして、このベースファイルから「チェック&テスト変換」機能により作成された「テスト問題ファイル」（練習問題も含む）は、他のコース（クラス）と共有可能である（実際には複写される）。



#### 4.2.8.1 ベースファイルの共有操作

1. 「ベースファイル一覧」の表示：「教師メニュー」から、「テスト作成」、「ベースファイル一覧」をクリック選択し、「ベースファイル一覧」画面を表示させる。

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 [?]

① **テスト作成の流れ**：テストを作成するにはまず「新規作成用テンプレート」を使って、【ベースファイル】を作成する必要があります。この【ベースファイル】で具体的に種々のテスト内容を作成し、ほぼ完成した時点で、【チェック&テスト変換】機能により、最終的に【テスト問題ファイル】に自動変換します。

② **【作成方法】**

③ **【詳細マニュアル】の表示関連** (表示済みの方は無視されたい)

④ **【ファイル編集】**：ファイルの中身を編集する。

⑤ **【編集】**：「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有（他のコースに複写）する。

⑥ **【その他】**

表示件数: 11 ~ 11 件 (全 11 件)

① « 新規作成用テンプレート » は最後のページにあります

< 1 2 3

【ベースファイル一覧】画面(編集用)

ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集・削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時
8	« 新規作成用テンプレート »	何も編集していない	<a href="#">【ファイル編集】</a>	<a href="#">【編集】</a>		3	0	4	24-08-28 01:21

< 1 2 3

© 2024 - WebAP

図 67: 「ベースファイル一覧」画面

2. 「編集」ボタンをクリック：他のクラスと共有したい「ファイル名」の「編集・削除」欄の「編集」ボタンをクリックして、「ベースファイルの編集」画面を表示する。

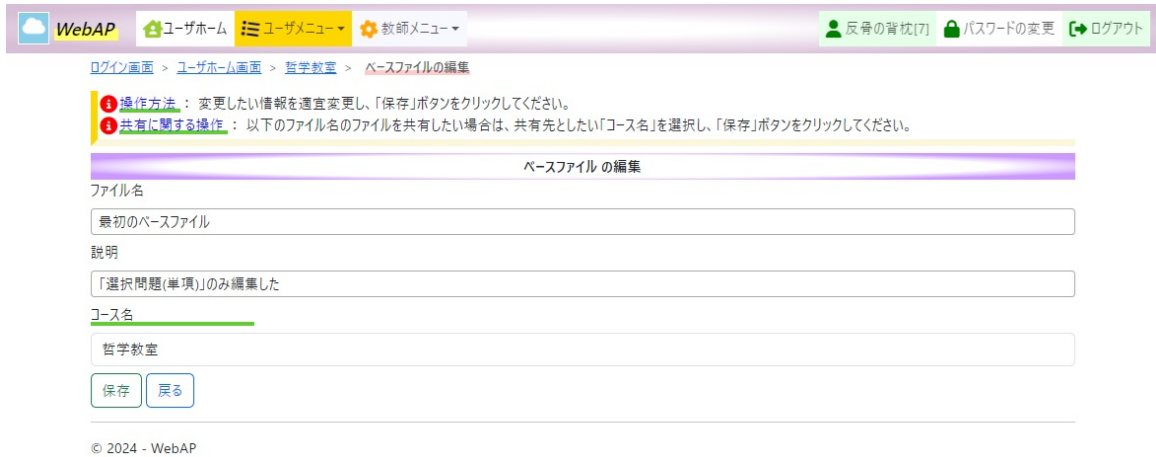


図 68: 「ベースファイルの編集」画面

3. コース名の変更：共有先としたいコース名を選択する。
4. 変更を保存：「保存」ボタンをクリックする。
5. 注意：「共有」作業と「ファイル名」、「説明」の修正作業は両立しない。つまり、必要に応じて、まずは、「ファイル名」、「説明」を変更・保存してから、「共有」作業を進めればよい。

#### 4.2.8.2 テスト問題ファイルの共有操作

基本的にベースファイルの共有操作と同様である (P.61 項目 4.2.8.1)。

1. 「テスト問題一覧」の表示：「教師メニュー」から、「テスト作成」、「テスト問題一覧」をクリック選択し、「テスト問題一覧」画面を表示させる。



ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト作成 [?]

① 【テスト問題】のファイル編集：テスト問題は、本来、ベースファイルの編集で、「チェック&テスト変換」により、テスト問題へ変換している筈なので、この段階でこのテスト問題ファイルの中身そのものを編集する事は稀である。

② それでも、編集を要する場合は、以下の【テスト問題一覧】画面から、編集したいテスト問題の【ファイル編集】をクリックして更なる編集を試みる。

③ 【詳細マニュアル】の表示関連 (表示済みの方は無視されたい)

④ 【ファイル編集】：ファイルの中身を編集する。

⑤ 【編集】：「ファイル名」、「説明」を編集する。ファイルを共有（他のコースに複写）する。「公開開始」、「公開終了」、「制限時間(分)」[?]、「正表」[?]を編集する。

注意：適切な公開時刻(公開開始または公開終了)を設定しなければ一般ユーザからは見えない。(ただし、練習問題は対象外)

⑥ 【ソートング】：[ID]、[ファイル名]、[種別]等、白の背景色の見出しをクリックするとソート可能。

表示件数: 1 ~ 5 件 (全 7 件)

1 2 >

【テスト問題一覧】画面(編集用)													
ID	ファイル名	説明	ファイル編集	編集・削除	orgID	種別	UID	役割	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表
91	意味形態論入門テスト	入門とはいえ予備知識が必要	【ファイル編集】	【編集】   削除	1	2081	4		24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1

図 69: テスト問題一覧画面 (編集用)

2. 「編集」 ボタンをクリック：他のクラスと共有したい「ファイル名」の「編集・削除」欄の「編集」ボタンをクリックして、「テスト問題の編集」画面を表示する。

WebAP ユーザーホーム ユーザーメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[7] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > テスト問題の編集

① 操作方法：変更したい情報を適宜変更し、「保存」ボタンをクリックしてください。

② 共有に関する操作：以下のファイル名のファイルを共有したい場合は、共有先としたい「コース名」を選択し、「保存」ボタンをクリックしてください。

③ その他の主たる操作

### テスト問題の編集

ファイル名  
テスト (トロット)

説明  
韓国のトロットに関する記述問題

公開開始   
2024/08/29 19:52:00

公開終了

制限時間

正表  
1

コース名  
哲学教室

図 70: テスト問題の編集画面

3. 共有処理：共有先としたいコース名を選択して「保存」する。
4. 注意：「共有」作業と「ファイル名」、「説明」の修正作業は両立しない。つまり、必要に応じて、まずは、「ファイル名」、「説明」を変更・保存してから、「共有」作業を進めればよい。



## 4.3 テスト受験


「ユーザメニュー」のサブメニューに、「テスト受験」はあるが、「教師メニュー」には無いので留意されたい。テストを作成するのは「教師メニュー」から、テストを受けるのは、「ユーザメニュー」から、と区別されている。

### 4.3.1 テスト受験の手順

1. テスト問題一覧の表示：「教師メニュー」ではなく、「ユーザメニュー」のサブメニュー「テスト受験」、「テスト問題一覧」を選択する。「教師メニュー」には、左横に必ず「ユーザメニュー」も表示されるので、教師も、テストを受験し、動作を確認する事が可能である。

ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > テスト受験

  **【ソートング】**：[ID]、[ファイル名]、[種別]等、白の背景色の見出しをクリックするとソート可能。

 **受験操作**：任意の「ファイル名」をクリックすると、問題が表示されます。

表示件数: 1 ~ 5 件 (全 7 件)

1 2 >


【テスト問題一覧】画面(受験用)							
ID	ファイル名	説明	作成日時	公開開始	公開終了	制時(分)	正表
91	 意味形態論入門テスト	入門とはいえ予備知識が必要	24-08-22 14:01	24-08-22 13:59			1

図 71: テスト問題一覧画面 (受験用)

2. テスト問題の選択：テスト問題一覧画面 (受験用) にて、求めるテスト問題のファイル名をクリックすると、テスト問題が展開される。



図 72: 展開されたテスト問題

3. 解答：適宜、解答して、「提出」ボタンをクリックする。



図 73: 解答画面

4. 提出後の画面：【成績】一覧画面 (受験者用) が表示される。



図 74: 【成績】一覧画面 (受験者用)

## 4.4 成績関連

### 4.4.1 採点結果の確認

1. 「教師メニュー」ではなく、「ユーザメニュー」のサブメニュー「成績関連」、「成績一覧」をクリックすると、【成績】一覧画面 (受験者用) が表示される。



図 75: 【成績】一覧画面 (受験者用) : 再掲

2. 【成績】一覧画面 (受験者用) にて、結果を知りたいテスト名の「採点結果」または「正解表示」をクリックする。正解表示内の「!!」(背景色は赤) はそれが正解である事を示している。

【テスト問題】画面	
総配点:100点(自動採点:100.00点)	自動採点:50.00点[50.00/100.00]
【テスト問題】(1)	配点:100.00
【問】(1-1)	配点:100.00
【選択問題(単項)】(1-1-1)	配点:50.00
ドイツの旧首都（第二次世界大戦直後の首都）はどこですか。	○:50.00 配点:50.00
<input checked="" type="radio"/> ボン	
<input type="radio"/> ヘルリン	
<input type="radio"/> フランクフルト	
【選択問題(複項)】(1-1-2)	配点:50.00
北海道内の都市を2つ挙げてください。	×:0.00 配点:50.00
<input checked="" type="checkbox"/> 小樽市	
<input type="checkbox"/> 釧路市	
<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市	

図 76: 【採点結果】表示の画面

【テスト問題】画面	
総配点:100点(自動採点:100.00点)	自動採点:50.00点[50.00/100.00]
【テスト問題】(1)	配点:100.00
【問】(1-1)	配点:100.00
【選択問題(単項)】(1-1-1)	配点:50.00
ドイツの旧首都（第二次世界大戦直後の首都）はどこですか。	○:50.00 配点:50.00
<input checked="" type="radio"/> <b>!!</b> ボン	
<input type="radio"/> ヘルリン	
<input type="radio"/> フランクフルト	
【選択問題(複項)】(1-1-2)	配点:50.00
北海道内の都市を2つ挙げてください。	×:0.00 配点:50.00
<input checked="" type="checkbox"/> <b>!!</b> 小樽市	
<input type="checkbox"/> 釧路市	
<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市	

図 77: 【正解表示】の画面

#### 4.4.2 平均点一覧

まず、テスト問題の平均点算出の条件は、

1. 当該コース(クラス)に属する一般ユーザ(学生)の初回のテスト問題の成績のみが平均点算出の対象となる。つまり、公式のテストは、初回受験時のテスト問題で

あって、2回目以降は、任意の受験となる。練習問題は全て平均点算出の対象とはならない。

2. 教師の場合、テストの受験は可能、成績結果の確認も可能であるが、平均点計算には含まれず、平均点一覧にも表示されない。

となる。

さて、上部の「ユーザメニュー」のサブメニュー「成績関連」、「平均点一覧」をクリックすると、【平均点】一覧が表示される。

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > 成績

**平均点表示** : 【平均点】一覧画面の右端の「詳細」をクリックすると、各項目ごとの集計(平均点、平均率、選択率)が表示されます。

表示件数: 1 ~ 2 件 (全 2 件) :

1

【平均点】一覧 画面												
ID	コース名	ファイル名	FileID	CV	配点	得点集計	平均点	解答者	正誤	受験者	変更時刻	
1104	哲学教室	テストの実験	62	【☆自動採点☆】	100	50	平均点 : 50.00点	1	1	1	08-19 00:40	<a href="#">詳細</a>
1054	哲学教室	MyTest	49	【☆自動採点☆】	100	150	平均点 : 75.00点	2	1	2	08-14 23:56	<a href="#">詳細</a>

1

© 2024 - WebAP

図 78: 【平均点一覧】画面

平均点一覧の右端の「詳細」をクリックすると、平均点のみならず、各問題形式の詳細に渡る分析結果を示す。

ただし、受験者が1名しかいなければ、平均点算出の意味はないが、受験者が増えるたびに、リアルタイムで平均点が算出・表示される。

ログイン画面 > ユーザホーム画面 > 哲学教室 > 成績

詳細表示：「平均点」、「平均率」、「選択率」が表示されます。ただし、複数の受験者がいないければあまり意味が無い。

表示件数: 1 ~ 9 件 (全 9 件) :

1

【平均点】一覧 画面											
ID	コース名	ファイル名	FileID	CV	配点	得点集計	平均点	解答者	正誤	受験者	変更時刻
1104	哲学教室	テストの実験	62	【☆自動採点☆】	100	50	平均点：50.00点	1	1	1	08-19 00:40
1096	哲学教室	テストの実験	62	【選択問題(単項)】	50	0		1	1	1	08-19 00:40
1097	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	50	0	選択率：0.00% (0/1)	0		1	08-19 00:40
1098	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	0	0	選択率：0.00% (0/1)	0		1	08-19 00:40
1099	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	0	0	選択率：100.00% (1/1)	1	1	1	08-19 00:40
1100	哲学教室	テストの実験	62	【選択問題(複項)】	50	50	平均率：100.00%	1	0	1	08-19 00:40
1101	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	25	25	選択率：100.00% (1/1)	1	0	1	08-19 00:40
1102	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	25	25	選択率：100.00% (1/1)	1	0	1	08-19 00:40
1103	哲学教室	テストの実験	62	選択肢	0	0	選択率：0.00% (0/1)	0		1	08-19 00:40

1

© 2024 - WebAP

図 79: 【平均点一覧：詳細】

## 4.5 教材関連

「教材メニュー」から、「教材関連」、「教材一覧」を選択し、【教材一覧】画面を表示する。



- ① **教材閲覧**：以下の【教材一覧】画面にて、閲覧またはダウンロードしたいファイル名をクリックしてください。
- ② **教材のアップロード**：以下のリンク【[新規教材登録](#)】をクリックして、教材ファイル（通常はPDFファイル）をアップロードして下さい。
- ③ **共有**：教材を他のコースと共有したい場合は、【**編集**】をクリックして「教材情報の編集」画面を表示させ、下部の「コースID(CourseID)」から、共有したいコース(クラス)を選択し、「保存」して下さい。
- ④ **注意**：公開日の設定されていない教材は、ユーザから閲覧できません。「公開日」の設定は【**編集**】ボタンから可能です。

表示件数: 1 ~ 1 件 (全 1 件) :

1

[新規教材登録](#) (次の「見出し行」で、白の背景色の「見出し」をクリックするとソート可能)

【教材一覧】画面											
カテゴリー	教材名	概要	コース名	曜日	時限	作成者名	ファイル名	ソート	公開日	作成時刻	
Others	世界教養概論	真の教養とは？	哲学教室 [7]			反骨の背枕 [7]	<a href="#">世界教養概論.pdf</a>	0	24-08-30 01:06	24-08-30 01:08	<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>

図 80: 【教材一覧】画面

#### 4.5.1 ファイル名

【教材一覧】画面で、ファイル名をクリックすると、そのファイルがPDF ファイルの場合、直接、その内容が表示される。PDF ファイルでない場合は、自動的にダウンロードが開始される。

#### 4.5.2 【編集】

「公開日」が設定されていない教材は、ユーザから閲覧できないので、【**編集**】ボタンをクリックして、適宜、「公開日」を設定する。

[ログイン画面](#) > [ユーザホーム画面](#) > [yhoasis07](#) > [教材情報編集](#)

教材情報の編集

教材名

カテゴリ

概要

公開日

作成者名

ファイル名

付記

アクティブ

ソート

曜日

時限

CourseID

図 81: 【教材情報編集】画面】

#### 4.5.3 削除

当該教材ファイルを削除する。

#### 4.5.4 新規教材登録

教材をアップロードしたい場合は、リンクの「新規教材登録」をクリックする。

**新規教材登録**

**登録操作** 以下の項目（必須項目は「教材名」のみ。「\*」で明示）を満たして、下部の「教材ファイルアップロード」をクリックすると、【ファイルの追加】画面が表示されます。ここに任意の教材ファイルをアップロードして下さい。

**教材名\***

**カテゴリ**

**概要**

**公開日** \* 下の枠内をクリックするとカレンダーが起動します

**曜日**

**時限**

図 82: 【新規教材登録】画面

適宜、必要な項目を入力してから、「教材アップロード」ボタンをクリックして、任意の教材ファイルをアップロードする。

【教材一覧】画面に戻るので、その一覧に今アップした教材ファイルが掲載されているか、確認する。

- ④ **教材閲覧**：以下の【教材一覧】画面にて、閲覧またはダウンロードしたいファイル名をクリックしてください。
- ④ **教材のアップロード**：以下のリンク【[新規教材登録](#)】をクリックして、教材ファイル（通常はPDFファイル）をアップロードして下さい。
- ④ **共有**：教材を他のコースと共有したい場合は、【編集】をクリックして「教材情報の編集」画面を表示させ、下部の「コースID(CourseID)」から、共有したいコース(クラス)を選択し、「保存」して下さい。
- ④ **注意**：公開日の設定されていない教材は、ユーザから閲覧できません。「公開日」の設定は【編集】ボタンから可能です。

表示件数: 1 ~ 2 件 (全 2 件) :

1

[新規教材登録](#) (次の「見出し行」で、白の背景色の「見出し」をクリックするとソート可能)

【教材一覧】画面											
カテゴリー	教材名	概要	コース名	曜日	時限	作成者名	ファイル名	ソート	公開日	作成時刻	
EngGramm	英文法概論	No Title	哲学教室 [7]			反骨の背枕 [7]	<a href="#">英文法概論.pdf</a>	0	24-08-30 01:15	24-08-30 01:15	<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>
Others	世界教養概論	真の教養とは？	哲学教室 [7]			反骨の背枕 [7]	<a href="#">世界教養概論.pdf</a>	0	24-08-30 01:06	24-08-30 01:08	<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>

図 83: 【教材一覧】画面

【注意】：教材ファイルの「共有」については、【教材一覧】画面上部の「共有」に関する説明を読みたい。

## 4.6 一斉メール送信

これは便利な機能と思われるので是非活用されたい。具体的には、ネット授業でのクラス、小さな研究会、学会等において、メンバー全員に一斉にメールを送信する必要性が少なからず存在する。その際、送信先アドレスに間違いがないか、変わっていないか等々、教師等の世話役は常に留意する事になる(以下、「メールアドレスの管理等」P.76 項目 4.6.3 を参照されたい)。

この負担の多くは本システムによって肩代わりされ得る。本システムでは、送信先の個々のメールアドレスは、システムが把握しており、最新のアドレスを漏れなく提示してくれる。

### 4.6.1 「一斉メール送信」の選択

最上部の「教師メニュー」から、「一斉メール送信」を選択する。

### 一斉メール送信

- ❗ **主題、本文の入力** : 作成したいメールの主題と本文を入力して下さい
- ❗ **添付ファイルの選択** : メールにファイルを添付したい場合は、「ファイル一覧」をクリックし、表示されたファイル一覧から、希望のファイル名をクリックして下さい。希望のファイルが無い場合は、「ファイルの追加」をクリックして下さい。
- ❗ **送信先の除外** : 通常、下部の「メンバーのアドレス情報」一覧に示されているメンバー全員(当該コースの全メンバー)に一斉メール送信されますが、送信対象から除外したいアドレスがある場合は、左端の「除外」チェックボックスにチェックを入れて下さい
- ❗ **送信** : 全ての準備が整ったら、「送信」ボタンをクリックして「一斉送信」を実行して下さい

---

**メールの主題**

⇒メールの主題を入力して下さい

**メールの本文**

⇒メールの本文を入力して下さい

**添付ファイル名** 📁 ファイル一覧

⇒「ファイル一覧」から任意のファイルを選択して下さい

✔ 一斉送信

メンバーのアドレス情報							
除外	UID	メールアドレス	氏名	ユーザ名	クラスID	役割	
<input type="checkbox"/>	2081	_____@softbank.ne.jp	反骨の背枕:[2081]	_____@softbank.ne.jp	1095	GeneralTeacher	
<input type="checkbox"/>	23	_____i@gmail.com	ユ-コム花子:[23]	_____@gmail.com	1095	GeneralUser	
<input type="checkbox"/>	2109	_____@cm_____ac.jp	福岡太郎:[2109]	niemand@ddj.fuku-u.ac.jp	1095	GeneralUser	
<input type="checkbox"/>	2114	_____@i_____u.ac.jp	桐生悠々:[2114]	kiryu@cmc.ho.ac.jp	1095	GeneralTeacher	

図 84: 一斉メール送信用メール作成画面

「メールの主題」と「メールの本文」を記入し、メールに添付したいファイルがある場合は、「添付ファイル名」右横の「ファイル一覧」をクリックして添付用「ファイル一覧ダイアログ」を表示させ、希望のファイル名をクリック選択する。

希望するファイルが無ければ、「ファイルの追加」ボタンをクリックして、ローカルパソコンから、任意のファイルをアップロードすると、自動的にこの一覧のトップに表示されるので、ここから任意のファイル名をクリック選択する。



図 85: 一斉メール送信用メール作成画面：添付ファイル用ファイルリスト一覧の表示

必要事項を満たしたら、「一斉送信」ボタンをクリックして一斉送信する。

#### 4.6.2 送信先メールアドレスの選択

本来、「一斉メール送信」では、当該コースに登録されているメンバー全員の最新アドレスに、ここで作成されたメールが送信されるが、時々事情に応じて、一時的に送信先から外したいアドレスも生じ得る。

その際には、当該コースに属する全メンバーのアドレスを表示している「メンバーのアドレス情報」一覧から、除外したいアドレスの左端のチェックボックスにチェックを入れてから、「一斉送信」ボタンをクリックする。



**一斉メール送信**

**主題、本文の入力** : 作成したいメールの主題と本文を入力して下さい  
 **添付ファイルの選択** : メールにファイルを添付したい場合は、「ファイル一覧」をクリックし、表示されたファイル一覧から、希望のファイル名をクリックして下さい。希望のファイルが無い場合は、「ファイルの追加」をクリックして下さい。  
 **送信先の除外** : 通常、下部の「メンバーのアドレス情報」一覧に示されているメンバー全員(当該コースの全メンバー)に一斉メール送信されますが、送信対象から除外したいアドレスがある場合は、左端の「除外」チェックボックスにチェックを入れて下さい  
 **送信** : 全ての準備が整ったら、「送信」ボタンをクリックして「一斉送信」を実行して下さい

**メールの主題**

⇒メールの主題を入力して下さい

**メールの本文**

⇒メールの本文を入力して下さい

**添付ファイル名**

⇒「ファイル一覧」から任意のファイルを選択して下さい

メンバーのアドレス情報							
除外	UID	メールアドレス	氏名	ユーザ名	クラスID	役割	
<input checked="" type="checkbox"/>	2081	.....@softbank.ne.jp	反骨の背枕:[2081]	.....@softbank.ne.jp	1095	GeneralTeacher	
<input type="checkbox"/>	23	.....@gmail.com	ユーコム花子:[23]	.....@gmail.com	1095	GeneralUser	
<input checked="" type="checkbox"/>	2109	.....@cn.....u.ac.jp	福岡太郎:[2109]	niemand@ddj.fuku-u.ac.jp	1095	GeneralUser	
<input type="checkbox"/>	2114	.....@.....u.ac.jp	桐生悠々:[2114]	kiryu@cmc.ho.ac.jp	1095	GeneralTeacher	

図 86: 一斉メール送信用メール作成画面

○注意 : 「メールアドレス情報」の「除外」欄にチェックの入ったメールアドレスには、メール送信されない点留意されたい。

#### 4.6.3 メールアドレスの管理等

ネットの時代、メールのアドレスは、本人が直接変更するか、あるいは、教師等の世話役を介して、変更可能としておくのが良いと思われる。具体的にどのように実装するかは、以下のような方針が考えられよう。

1. 方針1 : 本人がいつでもメールアドレスを自由に変更できるが、変更した場合、誰がいつどのアドレスに変更したのか、新旧アドレスを含めて、教師等の世話役に自動でメール通知する。
2. 方針2 : 本システムの「ユーザメニュー」の「環境設定」サブメニューに、「アドレス変更依頼」サブサブメニューを追加し、ユーザがこれを選択すると、変更画面が

表示される。

ここで、ユーザが新たなメールアドレスを記入して、「変更申請」ボタンをクリックすると、その旨、新旧アドレスを含めて、世話役等に自動でメール通知される。これを受け、世話役等は、「教師メニュー」から、新たに設けられた「アドレス変更確認」サブメニューをクリックして、「アドレス変更確認」画面を表示する。この画面ではアドレスを変更したいユーザの記録（新旧メールアドレス等）が明示され、問題がなければ、世話役が「承認」ボタンをクリックする、といった流れとなろう。

3. その他の方針：アイディア次第で、教師等の世話役の負担を極限にまで減らす事が可能となろう。

等々の利便性を考慮した方針を実装する事が可能である。例えば、方針2ならば、新規アドレスを記入するのはユーザ本人の責任であり、世話役等は「承認」ボタンで承認するのみ、となり、世話役の手間暇が省けるとともに、変更された新アドレスは、システムが間違いなく自動でデータベースに保持する事になる。アドレス管理の半自動化である。

## 4.7 メンバー関連

### 4.7.1 入退室一覧

「入退室一覧」については、当該コース(クラス)に入退室したメンバーの記録である。

WebAP ユーザーホーム ユーザーメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[2081] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > メンバー関連

表示件数: 1 ~ 5 件 (全 267 件) : 白の背景色の見出しをクリックするとソート可能

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... > >>

【入退室】一覧					
AID	コース名	ユーザ名 [ID]	入出時刻	退出時刻	
25741	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 01:49	24-08-19 01:49	
25740	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 01:37	24-08-19 01:49	
25739	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 00:49	24-08-19 01:17	
25738	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 00:32	24-08-19 00:49	
25737	哲学教室	@softbank.ne.jp [2081]	24-08-19 00:00	24-08-19 00:31	

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... > >>

© 2024 - WebAP

図 87: 【入退室一覧】画面

#### 4.7.2 履修者一覧 (コース内のメンバーの役割変更)

当該コース (クラス) を履修した全ユーザの一覧である。

WebAP ユーザーホーム ユーザーメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[2081] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > メンバー関連

**役割変更操作**：当該コースを履修しているユーザの役割(一般ユーザ、パワーユーザ、一般TA、パワーTA、一般教師、パワー教師の6種)を変更したい場合、「編集」をクリックして、「履修登録の編集」画面を表示する。  
**ユーザの新規履修登録**：「新規履修登録」をクリックして、「新規履修登録」画面を表示する。

新規履修登録

【履修者】一覧					
氏名	ユーザ名	役割	コース名	曜日	時限
反骨の背枕:[2081]	@softbank.ne.jp	GeneralTeacher	哲学教室 [1095]		<a href="#">編集</a>
ユーコム花子:[23]	@gmail.com	GeneralUser	哲学教室 [1095]		<a href="#">編集</a>
福岡太郎:[2109]	@ddj.fuku-u.ac.jp	GeneralTA	哲学教室 [1095]		<a href="#">編集</a>
桐生悠々:[2114]	@cn.ac.jp	GeneralUser	哲学教室 [1095]		<a href="#">編集</a>
東北次郎:[2110]	jemand@google.tohoku.jp	GeneralUser	哲学教室 [1095]		<a href="#">編集</a>

© 2024 - WebAP

図 88: 【履修者一覧】画面

右端のリンク「編集」により、メンバーの役割を変更可能。

WebAP ユーザーホーム ユーザーメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[2081] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > 履修登録の編集

**役割の変更操作**：「役割」から任意の役割を選択して「保存」する。なお、「CourseID(コース名)」、「UserID(ユーザ名)」は変えない事。

履修登録の編集

CourseID

UserID

役割

© 2024 - WebAP

図 89: 【編集】画面

【履修者一覧】画面で、「新規履修登録」をクリックすると、「新規履修登録」画面が表示

示されるので、適宜、必要に応じて、メンバーを追加する。

WebAP ユーザーホーム ユーザーメニュー 教師メニュー 反骨の背枕[2081] パスワードの変更 ログアウト

ログイン画面 > ユーザーホーム画面 > 哲学教室 > 新規履修登録

**新規履修登録操作**: 「UserID(ユーザー名)」と「役割」を選択して「保存」する。なお、「CourseID(コース名)」は変えない事。

**新規履修登録**

CourseID  
哲学教室

UserID  
kiryu@cmc.ho.ac.jp

役割

保存 戻る

© 2024 - WebAP

図 90: 【新規履修登録】画面

## 5 パワー教師

コース(クラス)の役割がパワー教師の場合、「教師メニュー」の末尾に「パワー教師」メニューが付加される。



© 2024 - WebAP

図 91: 【パワー教師】のメニュー画面

## 5.1 (お試し版) ユーザの消去

お試し版ユーザの登録をすると、本人(メインユーザ:パワー教師の役割付与)以外、10個のサブユーザ(一般ユーザ:学生の役割付与)が自動で作成される(クラス登録、履修登録、ユーザ登録も自動処理される)。ただ、お試し版を検証後、お試し版ユーザ関連の情報を全て、消去したい場合、このメニューをクリックする。これにより、再度、お試し版ユーザ登録も可能となる。